

SONY

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4



型式：YY2948

ヘッドセットを使っていて困ったときやわからないことがあったときには使うマニュアルです。

ヘッドセットのソフトウェアや“Sony | Headphones Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。詳しくは、下記をご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/headphone/>

準備する

[Bluetooth機能でできること](#)

[音声ガイダンスについて](#)

付属品について

[箱の中身を確認する](#)

[イヤーピースを交換する](#)

[使い終わったら](#)

各部の名前

[各部の名前](#)

[ランプ表示](#)

ヘッドセットを装着する

[ヘッドセットを装着する](#)

[片側のヘッドセットだけを使う](#)

[タッチセンサーについて](#)

電源／充電

[充電する](#)

[使用可能時間](#)

[充電式電池の残量を確認する](#)

[ヘッドセットの電源を入れる](#)

[ヘッドセットの電源を切る](#)

接続する

[Bluetooth接続をするには](#)

アプリを使ってかんたんに接続する

[“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する](#)

Android搭載スマートフォン

[Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)

iPhone（iOS搭載機器）

[iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)

ウォークマン

[ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）](#)

パソコン

[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）](#)

[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)

[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)

他のBluetooth機器

[Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)

マルチポイント接続

[2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)

音楽を聞く

Bluetoothを使って音楽を聞く

[Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)

[音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

[Bluetooth接続を切斷するには（使い終わるには）](#)

ノイズキャンセリング機能

[ノイズキャンセリング機能とは](#)

[ノイズキャンセリング機能を使う](#)

周囲の音を聞く

[音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)

[すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）](#)

[ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)

音質モード

[音質モードについて](#)

対応コーデックについて

DSEE Extremeについて

通話する

電話を受ける

電話をかける

通話時にできること

パソコンでビデオ通話する

[Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

音声アシスト機能を使う

[Google アシスタントを使う](#)

[Amazon Alexaを使う](#)

[音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う](#)

[音声アシスト機能（Siri）を使う](#)

アプリを使う

[“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る](#)

[ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[ヘッドセットの防滴性能について](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[電話・ファックスで問い合わせる](#)

[サポートホームページで調べる](#)

困ったときは

[故障かな？と思ったら](#)

電源／充電

[電源が入らない](#)

[充電できない](#)

[使用時間が短い、電池の持ちが悪い](#)

[充電時間が長い](#)

[充電ケースをパソコンにつないでも充電できない](#)

[スマートフォンの画面にヘッドセットの充電式電池の残量が表示されない](#)

音（音声）

[音が出ない](#)

[音が小さい](#)

[左右の音量差がある、低音が足りない](#)

[音質が悪い](#)

[音が途切れやすい](#)

[音楽再生中にノイズが入る](#)

[ノイズキャンセリング効果が得られない](#)

Bluetooth接続

[機器登録（ペアリング）できない](#)

[Bluetooth接続ができない](#)

[ヘッドセットを操作できない](#)

[通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい](#)

その他

[イヤーピースが破損した、紛失した](#)

ヘッドセットをリセット・初期化する

[リセットする](#)

[初期化する](#)

主な仕様

[主な仕様](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Bluetooth機能でできること

ヘッドセットではBLUETOOTH®技術を使って以下のようなことができます。

音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーなどからオーディオ信号を受信し、ワイヤレスで音楽を楽しめます。



通話する

スマートフォンや携帯電話をカバンやポケットの中に入れたまま、ハンズフリーで通話ができます。



5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音声ガイダンスについて

お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを耳に装着すると日本語の音声ガイダンスが流れます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン／オフの切り替えができます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

以下の状況では、L側とR側両側のヘッドセットから同時に流れます。

- 機器登録（ペアリング）モードにしたとき：「ブルートゥース、ペアリングモード」
- Bluetooth接続されたとき：「ブルートゥース、接続しました」
- Bluetooth接続が切断されたとき：「ブルートゥース、切断しました」
- ノイズキャンセリング機能がオンになったとき：「ノイズキャンセリング」
- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）がオンになったとき：「アンビエントサウンド」
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）がオフになったとき：「オフ」
- Google アシスタント機能を設定した側のタッチセンサーを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでGoogle アシスタントが使用できないとき：「Google アシスタントが接続されていません」
- ソフトウェアアップデート中にGoogle アシスタントが使用できないとき：「Googleアシスタントはアップデート中は使用できません。アップデート完了までお待ちください。」
- Amazon Alexa機能を設定した側のタッチセンサーを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでAmazon Alexaが使用できないとき：「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」

以下の状況では、L側とR側それぞれのヘッドセットから流れます。片側のヘッドセットだけを耳に装着してお使いの場合は、装着している側のヘッドセットから音声ガイダンスが流れます。

- 電源が入ったとき：「電源が入りました」
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って電源を切ったとき：「電源を切れます」
- ヘッドセットの充電式電池の残量をお知らせするとき：「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。おおよその目安として利用してください。）
- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなったとき：「バッテリーが少なくなりました。充電してください」
- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくて自動的に電源が切れるとき：「ヘッドセットを充電してください、電源を切れます」

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、約20分間ほど時間がかかります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。
- 音声ガイダンスの言語変更やヘッドセットのソフトウェアアップデートを行った後に音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして電源を切ってから、もう一度ヘッドセットを取り出して電源を入れてください。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

() 内は個数を示します。

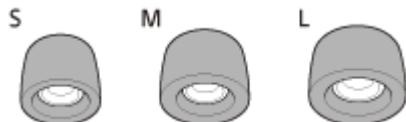
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

USB Type-C®ケーブル (USB-A - USB-C®) (約20 cm) (1)



ノイズアイソレーションイヤーピース : EP-NI1000 S/EP-NI1000 M/EP-NI1000 L (各2)

- お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが左右のヘッドセットに装着されています。
イヤーピースのサイズは、イヤーピースの内側の色で見分けます。

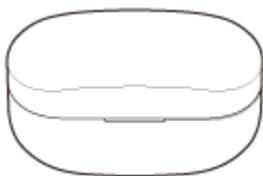


Sサイズ : 橙色

Mサイズ : 緑色

Lサイズ : 水色

充電ケース (1)



ご注意

- イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談いただき、別売のEP-NI1000 S/EP-NI1000 M/EP-NI1000 L (各2)をお買い求めください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

イヤーピースを交換する

お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが左右のヘッドセットに装着されています。

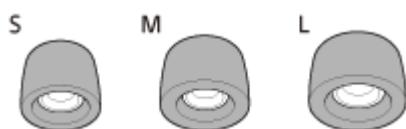
イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。

その場合は、以下をお試しください。

- より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。交換するときは大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
- ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ノイズアイソレーションイヤーピース

イヤーピースのサイズは、イヤーピースの内側の色で見分けます。

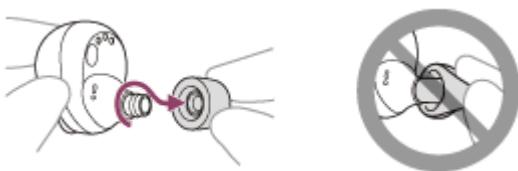


Sサイズ：橙色

Mサイズ：緑色

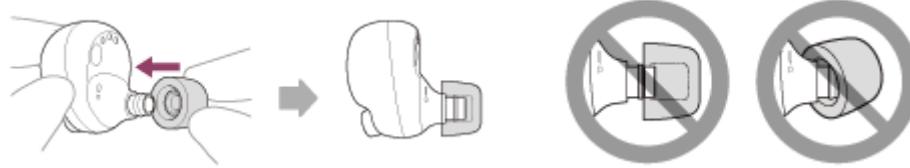
Lサイズ：水色

1 イヤーピースを外す。



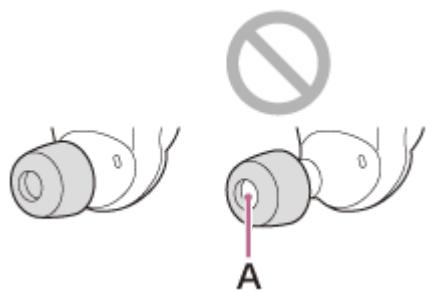
- イヤーピースの端をつまんで引っ張らないでください。

2 イヤーピースを取り付ける。



- イヤーピースを奥までしっかりと押し込んでください。イヤーピースを斜めに取り付けないでください。

3 イヤーピースの軸の色（橙色、緑色、水色）が見えないことを必ず確認する。



A : 軸

- ライトなどで明るくすることで確認しやすくなります。

ご注意

- イヤーピースは、長期の使用、保存により劣化します。亀裂、剥がれ、欠けなどの劣化が見られた場合は、使用を控えてください。
劣化すると音質、ノイズキャンセリングなどの性能が発揮できなくなり、さらに使用中にイヤーピースが耳の中に残り、けがや病気の原因になることがあります。
- 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなるおそれがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなるおそれがあります。
- イヤーピースが汚れた場合は水洗いを避け、乾いた布等で軽く拭いて取り除いてください。その際には、アルコール等は使用しないでください。早期劣化の原因となります。
- 水に濡れてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。
- 発泡ウレタン部分の穴の大小は音質に影響ありません。
- 装着時、耳の中でブチ音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 気温が低い場合は発泡素材が硬くなることがあります。手で少し温めてご使用ください。
- 気温や使用温度が高い場合は発泡ウレタンの復元が遅い場合があります。
- 低音を感じられなくなってきたら（本来の音質を感じられなくなってきたら）、交換してください。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

使い終わったら

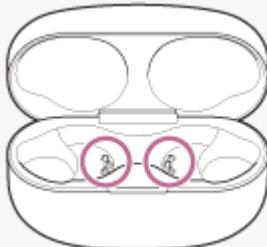
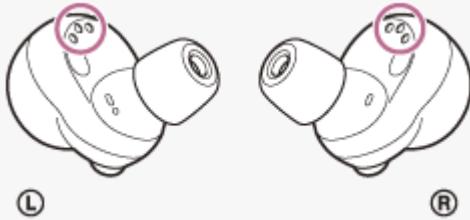
ヘッドセットを使い終わったら、必ず充電ケースに保管してください。

充電ケースのふたを閉めてください。



ご注意

- ヘッドセットの充電端子に汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となります。ご使用後は、すみやかに汗や水を拭き取ってください。また、ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



イヤーピースのお手入れ

イヤーピースを早期劣化から守るために、以下の注意を守ってご愛用ください。

- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなるおそれがあります。
- イヤーピースが汚れた場合は水洗いを避け、乾いた布等で軽く拭いて取り除いてください。その際には、アルコール等は使用しないでください。早期劣化の原因となります。
- 水に濡れてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。

イヤーピースに亀裂、剥がれ、欠けなどの劣化が見られた場合は、使用を控えてください。

劣化すると音質、ノイズキャンセリングなどの性能が発揮できなくなり、さらに使用中にイヤーピースが耳の中に残り、けがや病気の原因になることがあります。

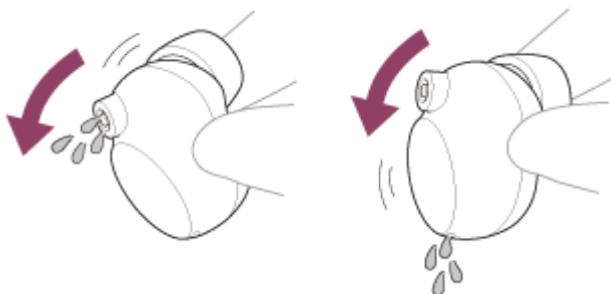
ヘッドセットに水がかかった場合は

- ヘッドセットに付着した水滴は乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

2. イヤーピースを取りはずして音導管と通気孔を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。



3. マイク穴（2箇所）を下に向け、乾いた布などに5回程度軽くたたくように当てて内部にたまつた水を出してください。



4. その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。

関連項目

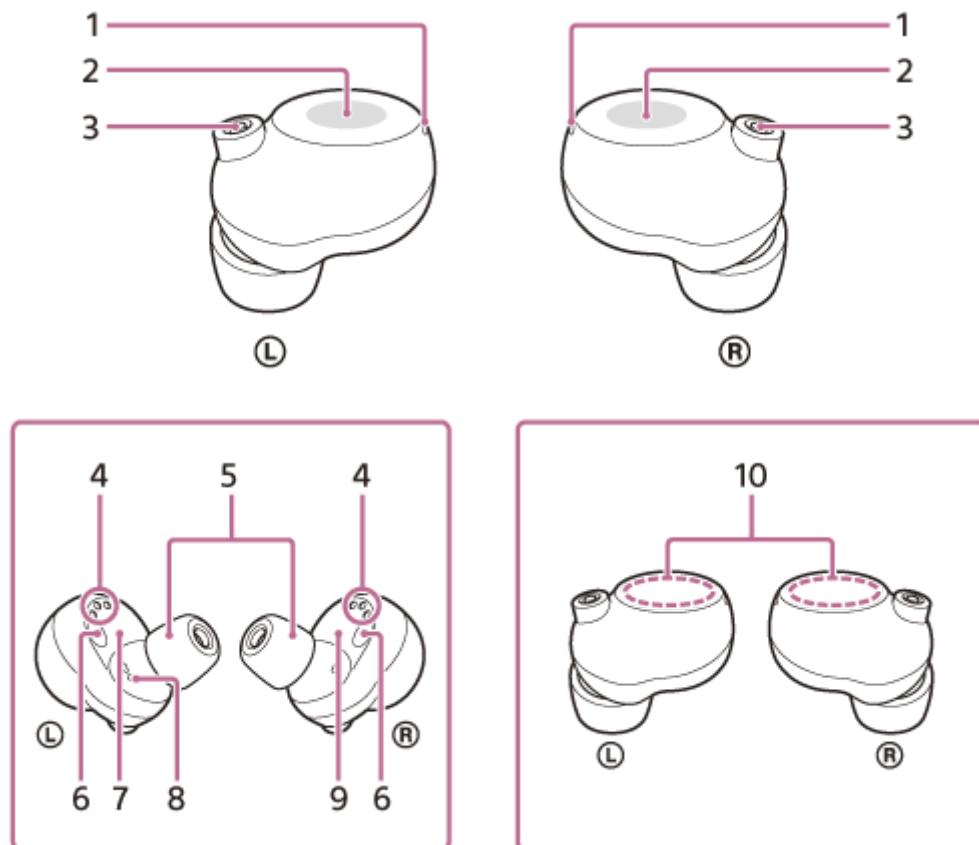
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

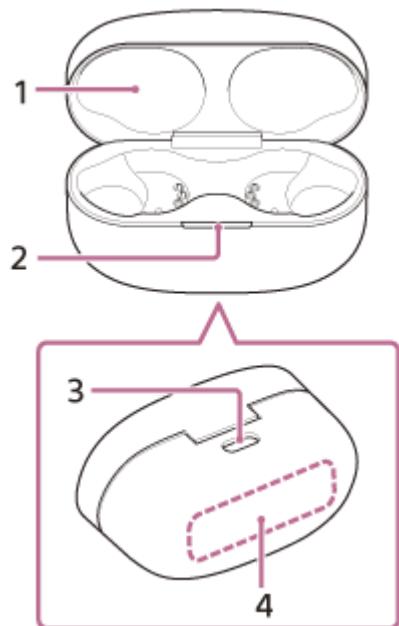
各部の名前

ヘッドセット



1. マイク (左、右)
2. タッチセンサー (左、右)
3. マイク (左、右)
4. 充電端子 (左、右)
5. イヤーピース (左、右)
6. IRセンサー
7. ① (左) マーク
8. 凸点 (突起)
左ユニットには凸点 (突起) がついています。
9. ② (右) マーク
10. 内蔵アンテナ (左、右)
Bluetooth アンテナが左右それぞれのヘッドセットに内蔵されています。

充電ケース



1. ふた
2. ランプ
充電の状態を表示します。
3. USB Type-C端子
付属のUSB Type-Cケーブルで、充電ケースをパソコンにつなぐか、別売のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつないで、ヘッドセットと充電ケースを同時に充電します。
4. Qi「チー」充電接触面

関連項目

- ランプ表示
- 充電式電池の残量を確認する

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ランプ表示

ヘッドセット／充電ケースの動作状態を充電ケースのランプで確認できます。

- : 緑色点灯 / ● : オレンジ色点灯 / ● : 赤色点灯 / - : 消灯

充電式電池の残量表示

左右のヘッドセットを両方とも充電ケースにセットしている場合：左右のヘッドセットのうち、残量が少ない方の充電式電池の残量を表示します。

片方のヘッドセットのみ充電ケースにセットしている場合：収納されているヘッドセットの充電式電池の残量を表示します。

ヘッドセットを充電ケースから取り出している場合：充電ケースの充電式電池の残量を表示します。

充電ケースのふたを開けたとき、ふたを閉めたとき、あるいは充電が終了してUSB Type-Cケーブルを外したときに、充電式電池の残量により以下のように表示されます。

- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池が満充電になっているとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池が満充電になっているとき
 (約6秒間緑色点灯)
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が94%以下のとき／ヘッドセットが充電ケースに収納されておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%以下のとき
 (約6秒間オレンジ色点灯)

ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、充電ケースにセットしたときに、充電式電池の残量により以下のように表示されます。

- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池が満充電になっているとき／ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池が満充電になっているとき
 (約3秒間緑色点灯)
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が94%以下のとき／ヘッドセットが充電ケースに収納されておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%以下のとき
 (約3秒間オレンジ色点灯)

充電時

充電の状態が確認できます。

- ヘッドセット充電中／充電ケース充電中
 (オレンジ色点灯)
- ヘッドセット／充電ケースの充電開始時に満充電だったとき
 - - - (約1分間オレンジ色点灯後、消灯)
- 満充電になり充電が完了したとき
- - - - - (消灯)
- ワイヤレス充電中にUSB Type-Cケーブルを使用して電源コンセントからの充電に切り替えたとき／充電ケースのふたを開閉したとき／ヘッドセットを充電ケースにセットしたり取り出したりしたとき
 - - -  - - - (約0.3秒間消灯後、オレンジ色点灯)
- 温度異常
 - - - - - (2回ずつ赤色点滅を繰り返す)
- 充電異常
 - - - - - (遅い赤色点滅を繰り返す)

| その他

- リセット完了
 (4回緑色点滅)
詳しくは、「[リセットする](#)」をご覧ください。
- 初期化完了
 (4回緑色点滅)
詳しくは、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ヒント

- ヘッドセット装着時の動作状態は、音声ガイダンスで確認できます。

関連項目

- [充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [リセットする](#)
- [音声ガイダンスについて](#)
- [初期化する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

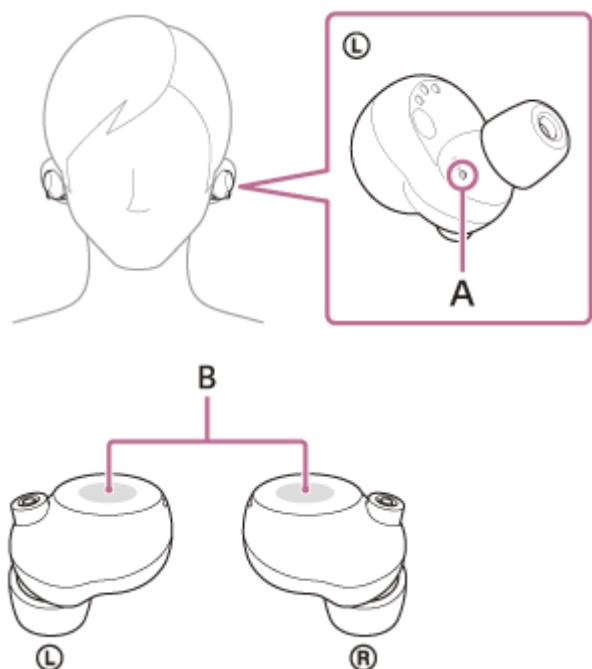
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ヘッドセットを装着する

1 ヘッドセットを耳に装着する。

① (左) マーク表示のあるほうを左耳に、(右) マーク表示のあるほうを右耳に装着します。L側には凸点（突起）がついています。

耳に装着するときは、タッチセンサーに触れないように注意してください。



A : 凸点（突起）

B : タッチセンサー（左、右）

2 ヘッドセットが耳にフィットするように調整する

ヘッドセットを回転させて耳穴をしっかりと塞ぎ、装着感のよい位置に調整してください。



3 イヤーピースの形状が安定するまで10秒程度待つ。

ヒント

- イヤーピースが入れにくい場合はサイズを変更するか、イヤーピースを軽く潰して装着してください。

- ヘッドセットを装着するときや、装着位置を調整するときのヘッドセットの持ち方は手順2のイラストを参照してください。

正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話品質などを発揮するために

イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。

その場合は、以下をお試しください。

- より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。交換するときは大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
- 手順2を参照して、ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

ヘッドセットを装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを耳に装着したり耳から取り外したりすると、ヘッドセットに内蔵されたIRセンサーがそれを感知して、再生の一時停止や再開をしたり、タッチセンサーや音声ガイダンスを制御したりします。

ヘッドセットを装着すると

- タッチセンサーで音楽再生や通話などの操作ができます。
- 操作や状態に応じた音声ガイダンスが流れます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを両耳に装着して音楽を再生しているときに、片側または両側のヘッドセットを取り外すと音楽の再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、充電ケースからヘッドセットを取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。タッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。
- 誤動作を防止するため、耳に装着されていないヘッドセットのタッチセンサーをタップしても再生や通話などの操作はできません。

ヒント

- 片側のヘッドセットだけを耳に装着して音楽を再生したり通話したりすることもできます。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音楽の再生を自動的に一時停止したり再開したりする設定や、自動的にヘッドセットの電源を切ったりする設定を変更できます。

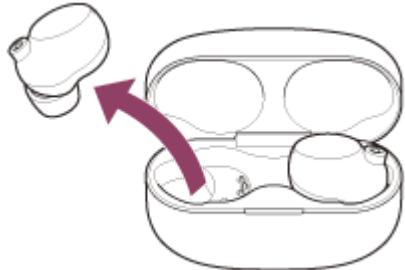
関連項目

- [イヤーピースを交換する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

片側のヘッドセットだけを使う

充電ケースから片側だけを取り出して使うことができます。
この場合、取り出した側のヘッドセットだけに電源が入ります。



もう一方のヘッドセットを装着すると

自動的に左右のヘッドセットが接続され、両側で音楽や通話の音声が聞こえます。

タッチセンサーへの機能の割り当てについて

装着する側によっては、出荷時の設定では操作できない機能があります。この場合、“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

ご注意

- 音楽などのステレオ音声を片側だけでお聞きになる場合、左右のチャンネルを合成した音声が聞こえます。
 - タッチセンサーへの機能割り当てや音声アシスタントの設定によっては、片耳使用できないことがあります。
- 以下に従い、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を確認してください。

音声アシスタントの設定	仕様
[モバイル機器の音声アシスト機能] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。
[Google アシスタント] または [Amazon Alexa] に設定	タッチセンサーへの機能割り当てが [再生コントロール] になっている側のみ使用可能です。 使用したいヘッドセット側のタッチセンサーへの機能割り当てを [再生コントロール] に設定してください。 お買い上げ時はR側に [再生コントロール] が設定されています。 左右両方に [再生コントロール] を割り当っている場合は、R側のみ使用できます。
[使用しない] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。

関連項目

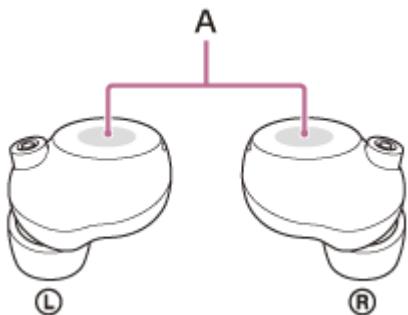
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

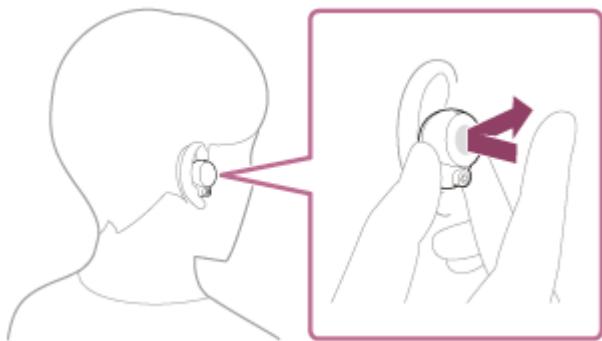
タッチセンサーについて

ヘッドセットのタッチセンサーをタップして、再生や通話、ノイズキャンセリング機能の切り替えなど、さまざまな操作ができます。



A : タッチセンサー（左、右）

タッチセンサーをタップするときは、親指と中指でヘッドセットを支えて、人差し指で操作してください。



主な操作

	L側	R側
タップする	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アシビエントサウンドモード）の切り替え	再生／一時停止
2回タップする	受話／終話	次の曲の頭出し 受話／終話
3回タップする	—	前（再生中）の曲の頭出し
触れたままにする	クイックアテンションモードを使用する	音声アシスト機能（Siri／Google アプリ）の起動／解除 通話移管
左右同時に触れたままにする（約5秒間）	機器登録（ペアリング）モードにする	機器登録（ペアリング）モードにする

ヒント

- タッチセンサーを2回または3回タップするときは、約0.3秒の間隔でタップを繰り返します。
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。たとえば、お買い上げ時はR側のタッチセンサーで可能な再生の操作をL側のタッチセンサーでできるように設定できます。また、音楽再生機能やノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能、音楽再生時の音量調節機能などを割り当てない設定もできます。この場合でも、ペアリング、リセット、初期化の操作は可能です。

ご注意

- ヘッドセットを耳に装着しないと、タッチセンサーは操作できません。“Sony | Headphones Connect”アプリで、装着検出による自動電源オフ機能を無効にすると、ヘッドセットを耳に装着していない状態でもタッチセンサーを操作できます。
- スマートフォンで Google アシスタントの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。
- スマートフォンでAmazon Alexaの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。
“Sony | Headphones Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

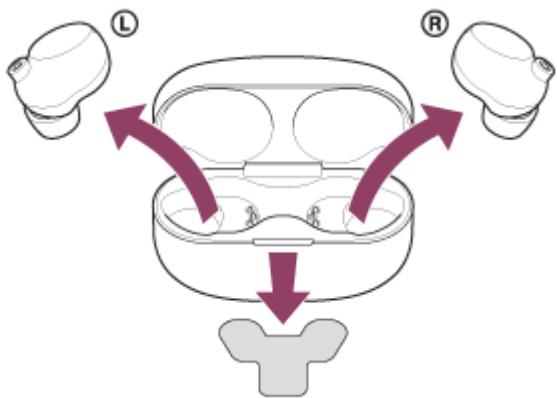
5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

充電する

ヘッドセットと充電ケースは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

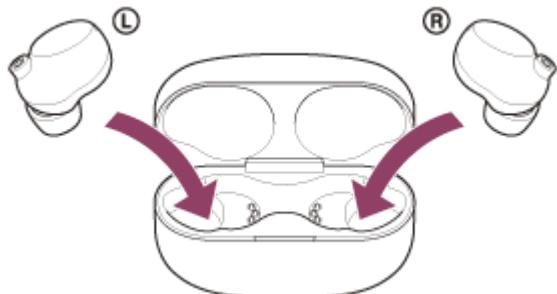
- 1 ヘッドセットを取り出し、充電ケースから絶縁シートを抜く。



抜き取った絶縁シートは処分してください。

- 2 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

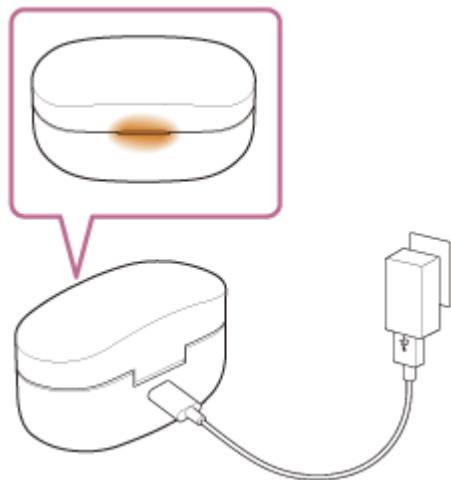
L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。



セットしたら、充電ケースのふたを閉めてください。

- 3 充電ケースを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。



充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯し、充電ケースとヘッドセットの充電が始まります。ヘッドセットと充電ケースの充電がともに完了すると、充電ケースのランプ（オレンジ）が消灯します。USB Type-Cケーブルを外してください。

充電時間について

ヘッドセットと充電ケースの満充電に要する時間は、約3時間（*）です。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。使用条件により変わる場合があります。

外出先でヘッドセットを充電する

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておくと、外出先などで電源がない場合もヘッドセットを充電できます。

ヘッドセットL側／R側の満充電に要する時間は、約1.5時間です。

外出先でヘッドセットを充電するときのご注意

ヘッドセットを充電ケースから取り出したときに、充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯する場合は、充電ケースの充電式電池の残量が少なくなっています。ランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量がありません。充電ケースを充電してください。

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20（別売）

市販のUSB ACアダプター

出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター

パソコン

USB端子が標準装備されたパソコン

- すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

ワイヤレス充電

市販のQi「チー」規格のワイヤレス充電器を使って、ワイヤレス充電することができます。

充電ケースのふたを閉めて、ワイヤレス充電器に充電ケースのSONYロゴを上に向けて置いて充電してください。

充電接触面の位置は、「各部の名前」をご参照ください。

また、充電する際はワイヤレス充電器に付属されている取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電ケースを起動中のパソコンに接続しても充電できます。

- ヘッドセットを耳に装着すると、充電式電池の残量を示す音声ガイダンスが流れます。なお、音声ガイダンスが示す充電式電池の残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

ご注意

- 付属のUSB Type-Cケーブル以外では、充電できない場合があります。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側のバッテリー消費の速さが異なる場合があります。
そのため、L側とR側のバッテリー充電時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電しなおしてください。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くかかる場合があります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ヘッドセットや充電ケースの充電式電池に問題がある場合、充電中に異常を検知すると充電ケースのランプ（赤）が点滅します。また、ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
周囲の温度が15 °C～35 °Cの範囲で充電することをお勧めします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、充電ケースのランプ（オレンジ）がすぐに点灯しない場合があります。ランプ（オレンジ）が点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 充電ケースをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく充電されません。
- ワイヤレス充電器や充電ケースに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ワイヤレス充電器をご使用の時に、充電器の上に金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ワイヤレス充電器で充電する場合は、充電ケースに装着しているカバーなどは取り外してください。カバーの材質や厚み、充電ケースとカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレス充電器のご使用にあたって医師とよく相談してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ICカード、磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレス充電器に近づけないでください。ICカードが故障するおそれがあります。キヤッショーカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。また、強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ワイヤレス充電時は、充電ケースの置き位置がずれると、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- お使いのワイヤレス充電器によっては、充電中・充電後しばらくヘッドセットおよび充電ケースが温かくなることがあります
が、異常ではありません。
- 次のような場所では、ワイヤレス充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所、一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 毛布などを被せた状態でワイヤレス充電器を使用しないでください。
- ワイヤレス充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

- ワイヤレス充電時、周辺に他の無接点充電対応機器がある場合は、30cm以上離してください。充電ケースが正しく検出されず、充電ができない場合があります。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [音声ガイダンスについて](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [各部の名前](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下の通りです。

Bluetooth接続

連続音楽再生

コーデック	DSEE Extreme™	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	AUTO	ノイズキャンセリング機能：オン	最大3.5時間
LDAC	AUTO	外音取り込み機能：オン	最大3.5時間
LDAC	AUTO	オフ	最大4時間
LDAC	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大5時間
LDAC	オフ	外音取り込み機能：オン	最大4.5時間
LDAC	オフ	オフ	最大6時間
AAC	AUTO	ノイズキャンセリング機能：オン	最大6時間
AAC	AUTO	外音取り込み機能：オン	最大6時間
AAC	AUTO	オフ	最大8時間
AAC	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大8時間
AAC	オフ	外音取り込み機能：オン	最大8時間
AAC	オフ	オフ	最大12時間
SBC	AUTO	ノイズキャンセリング機能：オン	最大5.5時間
SBC	AUTO	外音取り込み機能：オン	最大5.5時間
SBC	AUTO	オフ	最大7時間
SBC	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大7.5時間
SBC	オフ	外音取り込み機能：オン	最大7時間
SBC	オフ	オフ	最大11時間

- 充電5分間で、約1時間の音楽再生が可能です。
- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。

- 自動風ノイズ低減
- スピーク・トゥ・チャット
- イコライザー
- 音声でボイスアシスタントを起動させる機能

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大5.5時間
外音取り込み機能：オン	最大5時間
オフ	最大6時間

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックの確認やDSEE Extremeの切り替えができます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側のバッテリー消費の速さが異なる場合がありますが、異常ではありません。

関連項目

- [対応コーデックについて](#)
- [DSEE Extremeについて](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

充電式電池の残量を確認する

ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は、以下の方法で確認できます。

ヘッドセットを装着したとき

充電ケースからヘッドセットを取り出して両耳に装着すると、ヘッドセットの充電式電池の残量を示す音声ガイダンスがL側とR側それぞれのヘッドセットから流れます。

「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。）

音声ガイダンスが示す充電式電池の残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

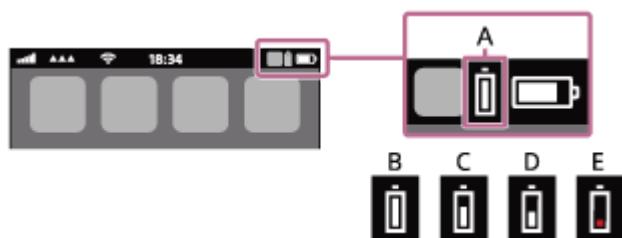
残量が少なくなると

警告音が鳴って音声ガイダンス「バッテリーが少なくなりました。充電してください」が流れたら、早めに充電してください。

残量が完全になくなると、警告音が鳴り、音声ガイダンス「ヘッドセットを充電してください、電源を切れます」が流れ、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

iPhone/iPod touchをお使いの場合

iPhone/iPod touchとHFPでBluetooth接続している間は、iPhone/iPod touchの画面にヘッドセットの充電式電池の残量を示すアイコンが表示されます。



A : ヘッドセットの充電式電池の残量

大まかな残量を10段階で表示します。B～Eは表示例です。

B : 100%

C : 70%

D : 50%

E : 10%以下（要充電）

iOS 11以降の場合は、iPhone/iPod touchのウィジェットにもヘッドセットの充電式電池の残量が表示されます。詳しくは、iPhone/iPod touchの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

Android™搭載スマートフォン（OS 8.1以降）をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している場合、[設定] - [機器接続] - [Bluetooth] を選ぶと、接続済みのBluetooth機器表示のところに、ヘッドセットの充電式電池の残量が「100%」、「70%」、「50%」、「10%」のように10段階で表示されます。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

充電ケースの充電式電池の残量を確認する

- ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、あるいは充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯する場合は、充電ケースの充電式電池の残量は約30%～1%です。この場合、ヘッドセットを充分に充電することができません。

- ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、あるいは充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに、充電ケースのランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量は0%です。この場合、充電ケースでヘッドセットを充電することはできません。

ヒント

- ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhone/iPod touchとも対応しています。

ご注意

- マルチポイント接続でiPhone/iPod touchまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [ランプ表示](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

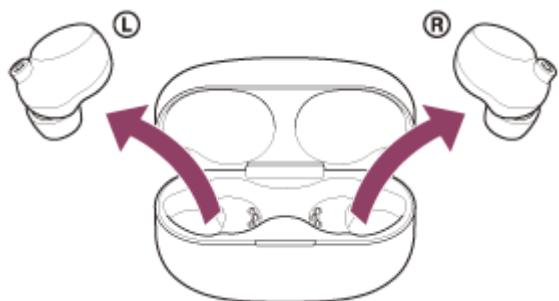
ヘッドセットの電源を入れる

充電ケースにセットされているとき

1 充電ケースからヘッドセットを取り出す。

自動的に電源が入ります。

片側だけを取り出すと、取り出したヘッドセットだけに電源が入ります。



ヘッドセットを耳に装着すると、充電式電池の残量を示す音声ガイダンスが流れます。

充電ケースにセットされていないとき

充電ケースからヘッドセットを取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。ヘッドセットを充電ケースに一度セットしてから取り出しても電源が入ります。

“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れないように設定を変更できます。

電源が入ると

お買い上げ時の設定では、自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。前回使用時にノイズキャンセリング機能の設定を変更していた場合、その設定が保持されます。充電ケースから両側のヘッドセットを取り出したときは、L側とR側のヘッドセットが接続されます。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れるとBluetooth機器登録（ペアリング）モードになります。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [ヘッドセットの電源を切る](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

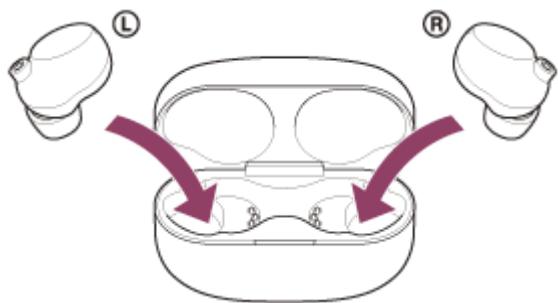
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ヘッドセットの電源を切る

1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側（凸点のついた側）のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに、R側を右側のくぼみに戻します。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。

ヘッドセットが充電ケースにセットされると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。充電ケースの充電式電池に充分な残量がある場合は、充電ケースのランプ（オレンジ）が点灯してヘッドセットの充電が始まります。



ヘッドセットを取り出したままにしておくと

充電ケースからヘッドセットを取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。その前に電源を切るには、ヘッドセットを充電ケースにセットします。

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に充分な残量がない場合は、ヘッドセットの充電が始まいません。充電ケースを充電してください。

関連項目

- [充電する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Bluetooth接続をするには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

機器登録（ペアリング）

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことを機器登録（ペアリング）といいます。

ヘッドセットと機器を操作して機器登録を行ってください。

機器登録済みの機器と接続する

一度機器登録すれば、再び機器登録する必要はありません。すでにヘッドセットとの機器登録が済んでいる機器それぞれの方法で接続してください。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン／iPhoneで“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect 

ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」の手順に従って接続してください。

関連項目

- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

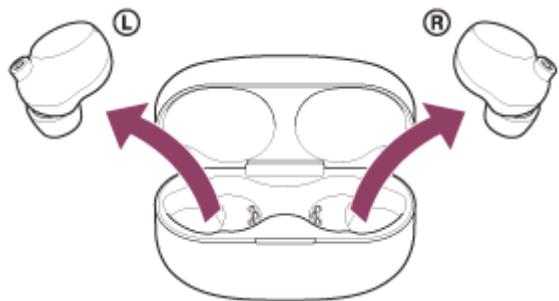
Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



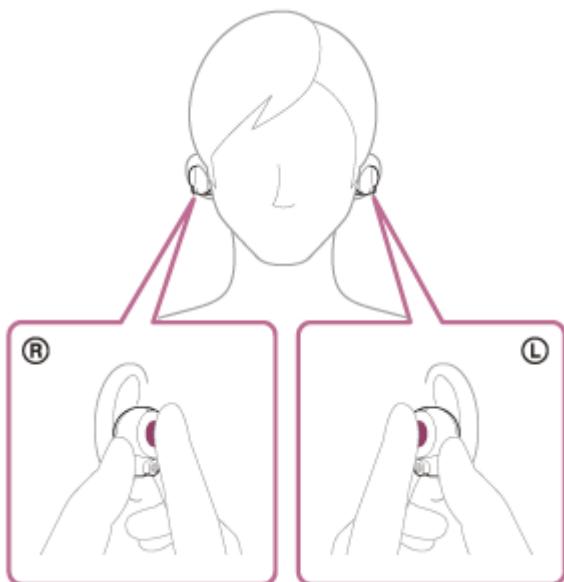
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。

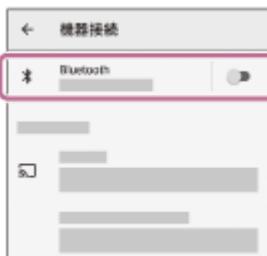


両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

③ Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

④ Android搭載スマートフォンでヘッドセットを検索する。

1. [設定] から [機器接続] の [Bluetooth] を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



⑤ [WF-1000XM4] をタッチする。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。

両側のヘッドセットから音声ガイド「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」をご覧ください。

Android搭載スマートフォンの画面に「WF-1000XM4」が表示されない場合は、もう一度手順4の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めて機器登録（ペアリング）する手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0022/ja/>

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

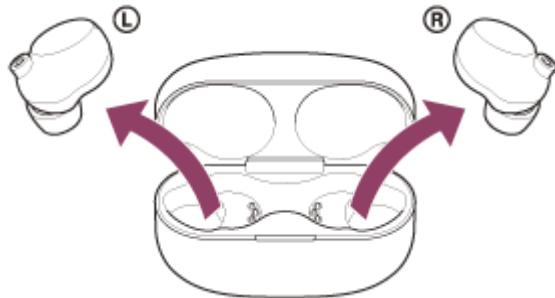
5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

- 1 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

- 2 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

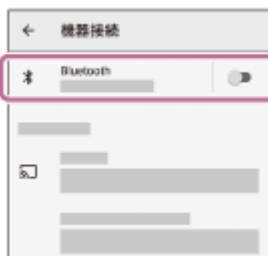
- 3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

- 4 Android搭載スマートフォンに登録済みの機器を表示する。

1. [設定] の [機器接続] から [Bluetooth] を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



- 5 [WF-1000XM4] をタッチする。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に【WF-1000XM4】【LE_WF-1000XM4】の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または【WF-1000XM4】が表示される場合は【WF-1000XM4】を、【LE_WF-1000XM4】が表示される場合は【LE_WF-1000XM4】を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- スマートフォンと接続できなくなった場合は、スマートフォンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

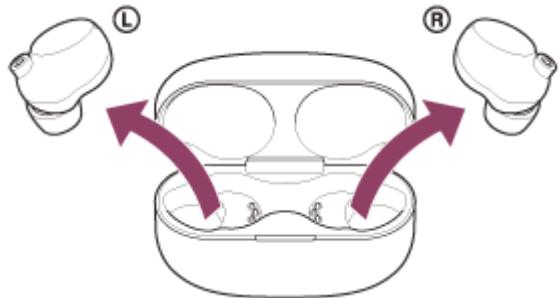
iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとiPhoneが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



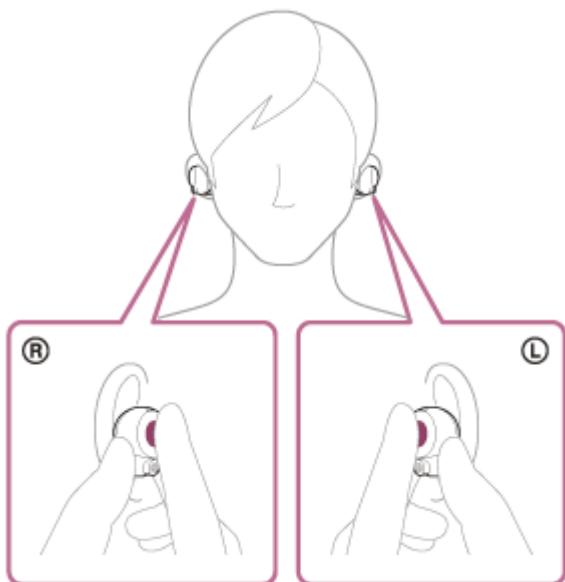
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

3 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

4 iPhoneでヘッドセットを検索する。

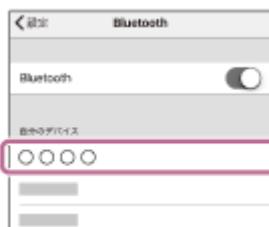
1. [設定] を選ぶ。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



5 [WF-1000XM4] をタッチする。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。

両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」をご覧ください。

iPhoneの画面に「WF-1000XM4」が表示されない場合は、もう一度手順4の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めて機器登録（ペアリング）する手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0022/ja/>

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

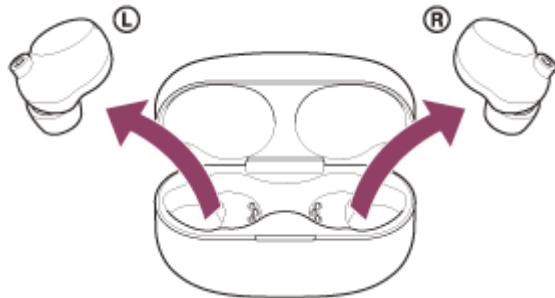
5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

- 1 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

- 2 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

- 3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

- 4 iPhoneに登録済みの機器を表示する。

1. [設定] を選ぶ。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



- 5 [WF-1000XM4] をタッチする。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WF-1000XM4] [LE_WF-1000XM4] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WF-1000XM4] が表示される場合は [WF-1000XM4] を、 [LE_WF-1000XM4] が表示される場合は [LE_WF-1000XM4] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

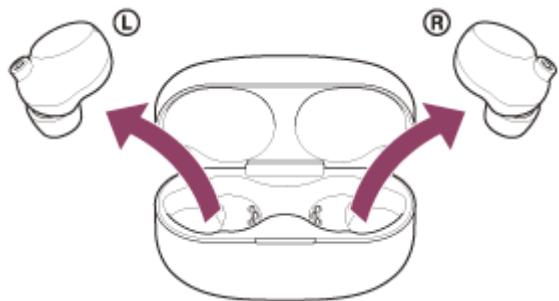
ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマンの取扱説明書を準備する。

1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



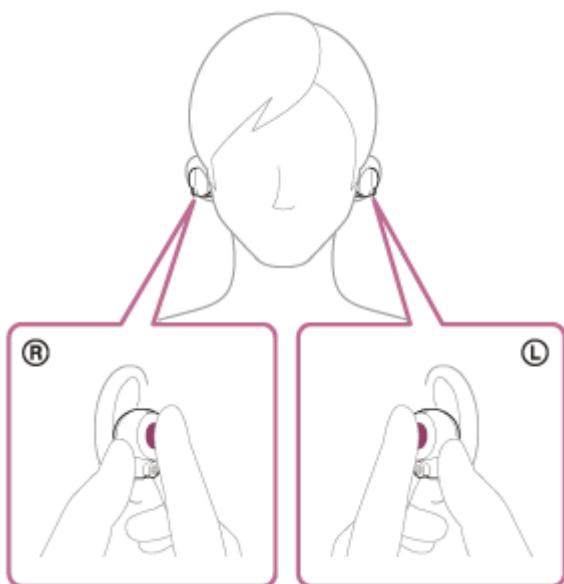
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

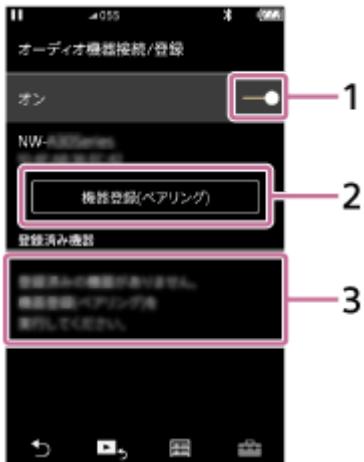
2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

- ③ ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。
- ④ ライブラリ画面から【 (オプション/設定)】 - 【 設定】 - 【Bluetooth】 - 【オーディオ機器接続/登録】の順に選ぶ。
- ⑤ (1) 【オン】になっていることを確認し、(2) 【機器登録(ペアリング)】を選んでから、(3) 【WF-1000XM4】を選ぶ。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとウォークマンが接続された状態になります。

両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「機器登録(ペアリング)済みのウォークマンと接続する」をご覧ください。

ウォークマンの画面に【WF-1000XM4】が表示されない場合は、もう一度手順4から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してももう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

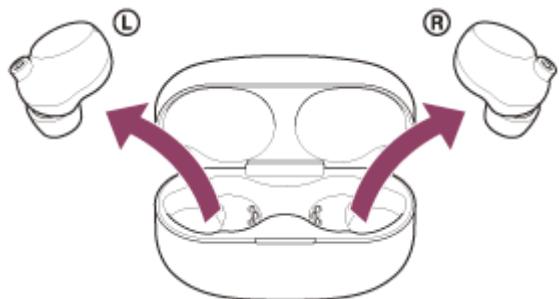
ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマンの取扱説明書を準備する。

1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



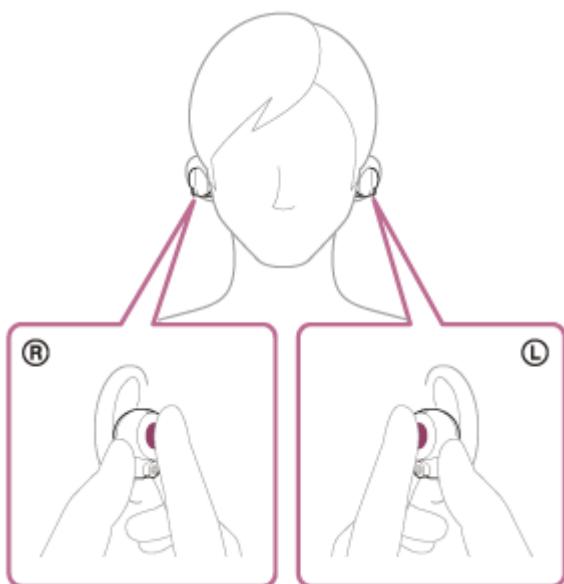
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

③ ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

④ ウォークマンでヘッドセットを検索する。

1. [設定] - [接続済みの端末] - [新しいデバイスとペア設定する] を選ぶ。



⑤ [WF-1000XM4] をタッチして、[ペア設定する] を選ぶ。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとウォークマンが接続された状態になります。

両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）](#)」をご覧ください。

ウォークマンの画面に [WF-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順4の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

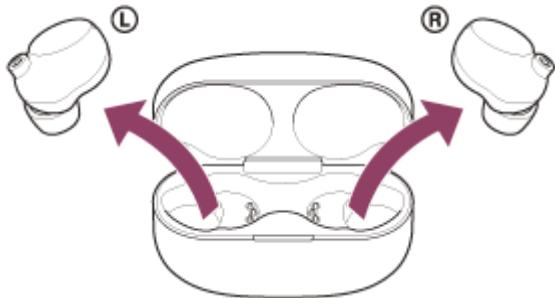
5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する

- 1 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

- 2 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

- 3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ウォークマンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

- 4 ライブラリ画面から【（オプション／設定）】 - 【 設定】 - 【Bluetooth】 - 【オーディオ機器接続／登録】の順に選ぶ。

- 5 (1) 【オン】になっていることを確認し、(2) 【WF-1000XM4】を選ぶ。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WF-1000XM4] / [LE_WF-1000XM4] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WF-1000XM4] が表示される場合は [WF-1000XM4] を、[LE_WF-1000XM4] が表示される場合は [LE_WF-1000XM4] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマンと接続できなくなった場合は、ウォークマンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。ウォークマンの操作については、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

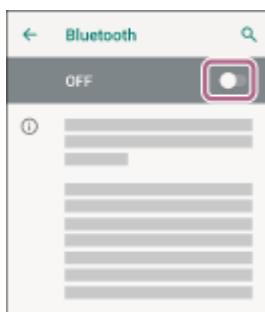
WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）

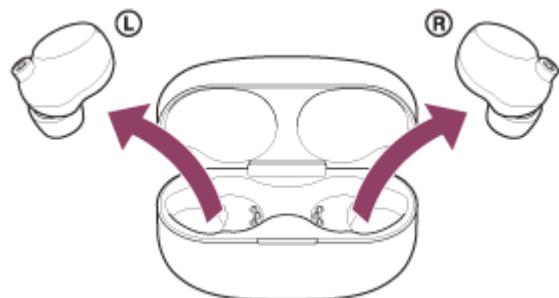
- 1 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

- 2 ウォークマンのBluetooth機能をオンにする。

1. [設定] - [接続済みの端末] - [接続の設定] - [Bluetooth] を選ぶ。
2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



- 3 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

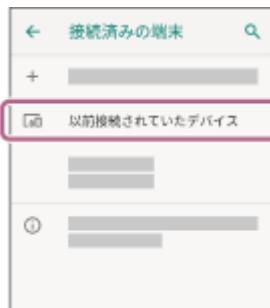
- 4 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ウォークマンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順5に進んでください。

- 5 ウォークマンに登録済みの機器を表示する。

1. [設定] - [接続済みの端末] - [以前接続されていたデバイス] を選ぶ。



- 6 [WF-1000XM4] の横にある  (設定) アイコンをタッチして [接続] を選ぶ。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WF-1000XM4] / [LE_WF-1000XM4] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WF-1000XM4] が表示される場合は [WF-1000XM4] を、 [LE_WF-1000XM4] が表示される場合は [LE_WF-1000XM4] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマンと接続できなくなった場合は、ウォークマンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。ウォークマンの操作については、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）

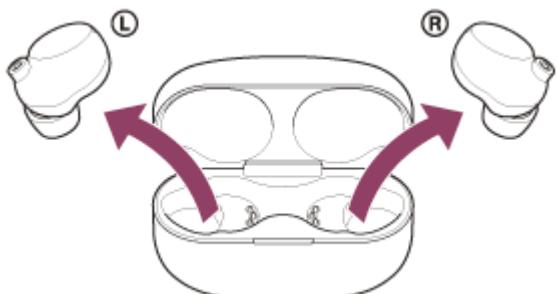
接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのOSのバージョンがWindows 10バージョン 1803以降の場合、クリックペアリング機能を使ってかんたんに機器登録できます。クリックペアリング機能を使用する場合は、[スタート]ボタン - [設定] - [デバイス] - [Bluetoothとその他のデバイス] の順にクリックし、[クリックペアリングを使用して接続するための通知を表示する] にチェックを入れてください。



1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

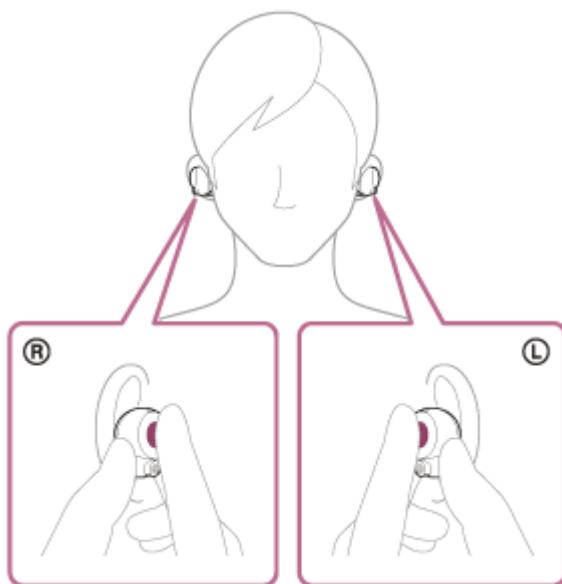
2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセッ

トを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。



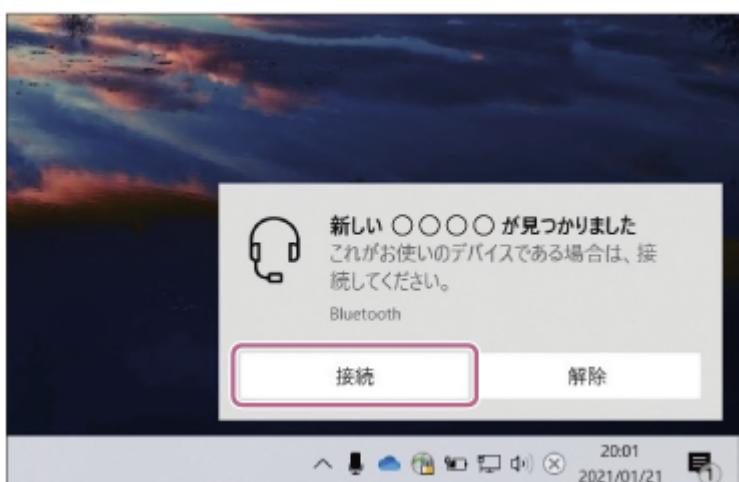
両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

③ パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

④ パソコンでヘッドセットを登録する。

クリックペアリング機能を使用して接続する場合

パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、【接続】を選ぶ。

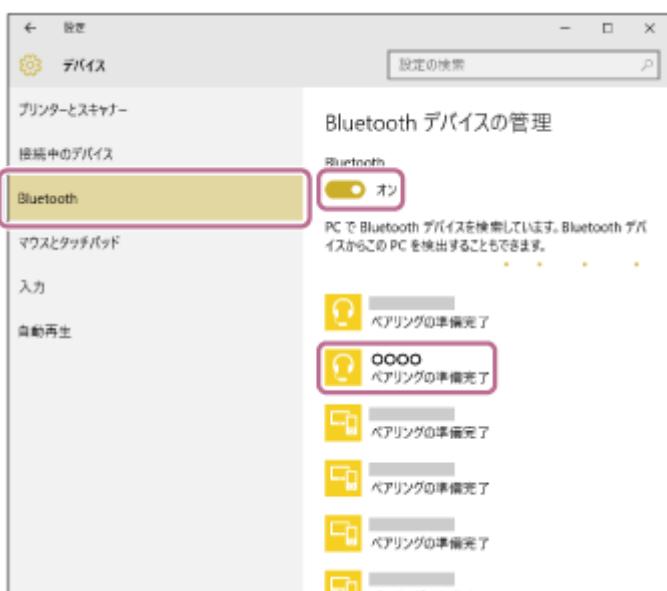


クリックペアリング機能を使用せずに接続する場合

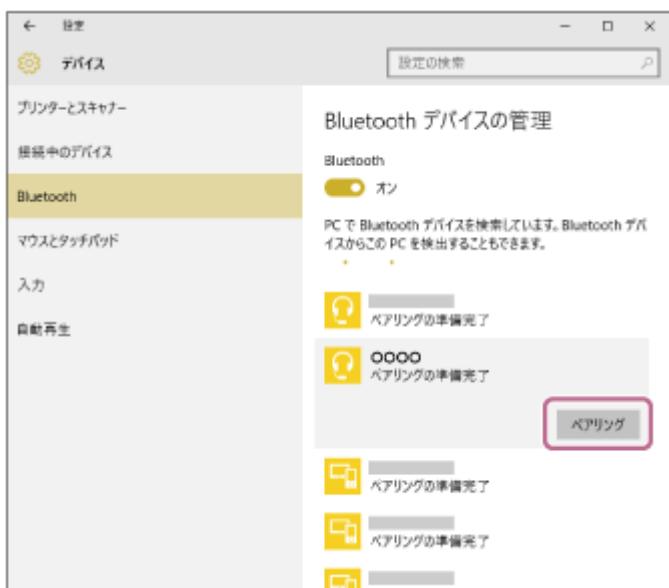
1. [スタート] ボタン - [設定] の順にクリックする。
2. [デバイス] をクリックする。



3. [Bluetooth] タブ – [Bluetooth] スイッチの順にクリックしてBluetooth機能をオンにし、[WF-1000XM4] を選ぶ。



4. [ペアリング] をクリックする。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)」をご覧ください。パソコンの画面に【WF-1000XM4】が表示されない場合は、手順4の「[クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合](#)」から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
 - ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
 - すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

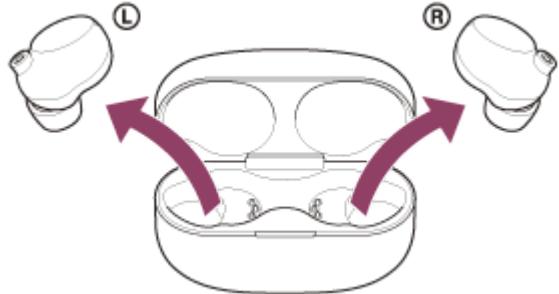
パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



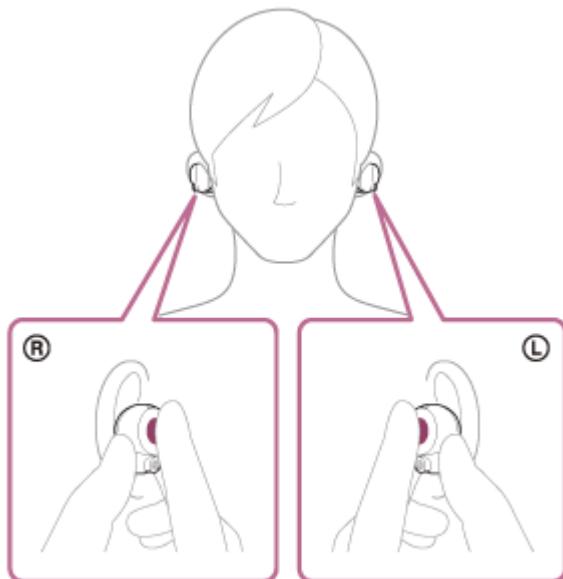
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。

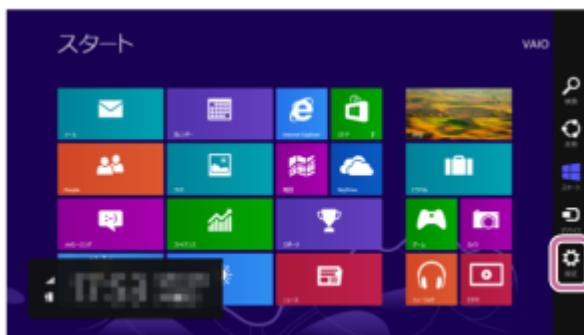


両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

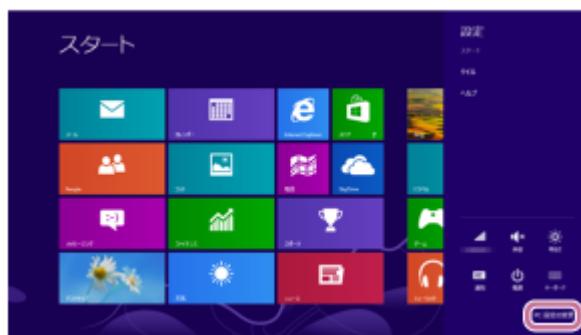
③ パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

④ パソコンでヘッドセットを登録する。

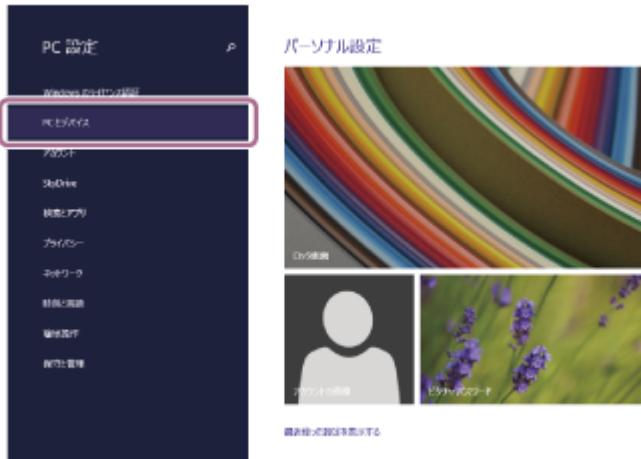
1. 画面の右上隅にマウスポインターを合わせて（タッチパネルの場合は画面の右端からスワイプして）、表示されたチャームから【設定】を選ぶ。



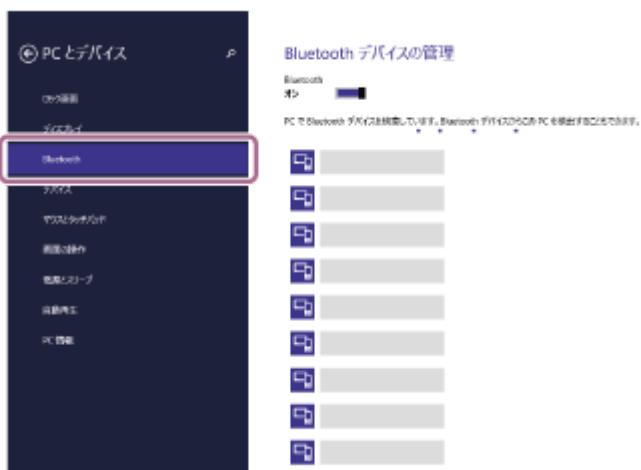
2. 【設定】チャームから【PC設定の変更】を選ぶ。



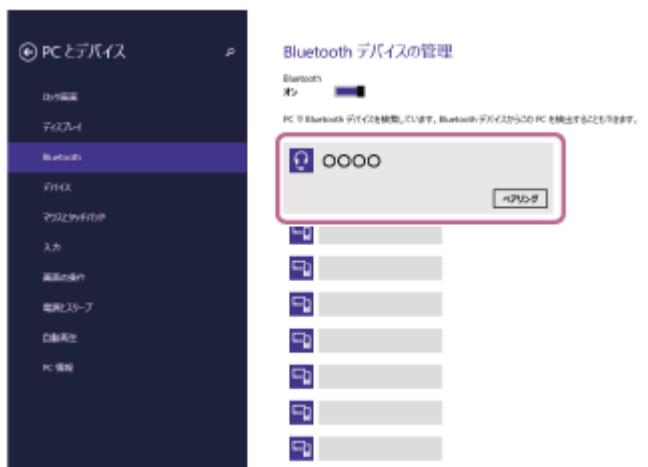
3. 【PC設定】画面から【PCとデバイス】を選ぶ。



4. [Bluetooth] を選ぶ。



5. [WF-1000XM4] を選び、[ペアリング] を選ぶ。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に [WF-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順4の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

対応OS

macOS（バージョン10.14以降）

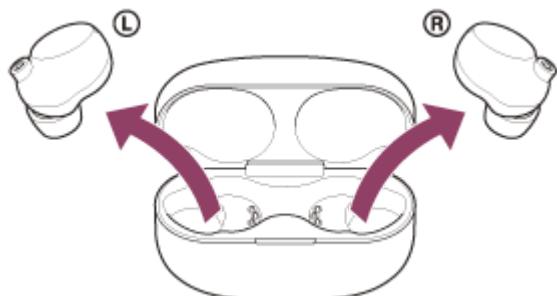
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

パソコンのスピーカーがONモードの状態



1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



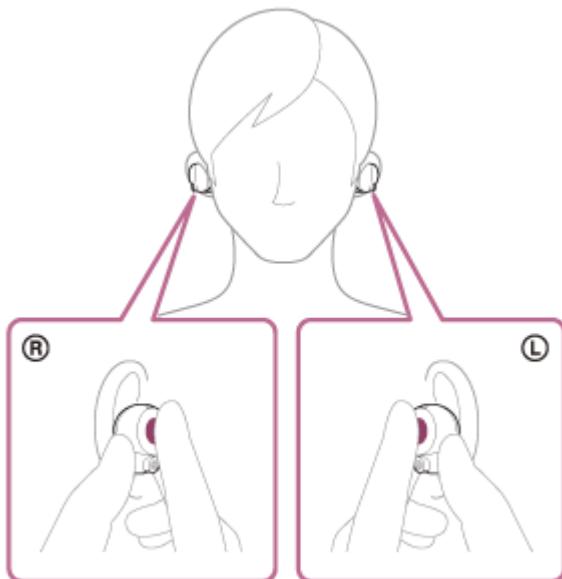
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

③ パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

④ パソコンでヘッドセットを登録する。

1. 画面右下のタスクバーで [ (システム環境設定)] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



2. [Bluetooth] 画面から [WF-1000XM4] を選び、[接続] をクリックする。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

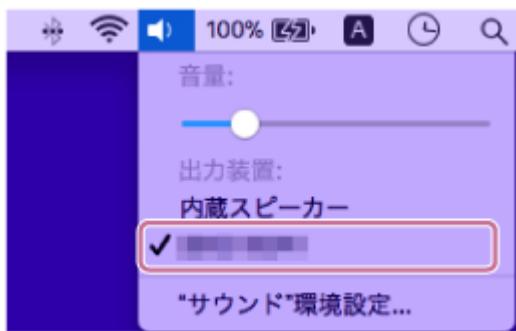
接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に【WF-1000XM4】が表示されない場合は、もう一度手順4の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

5 画面右上のスピーカーアイコンをクリックし、【WF-1000XM4】を選ぶ。

パソコンの音楽再生などをお楽しみいただけます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

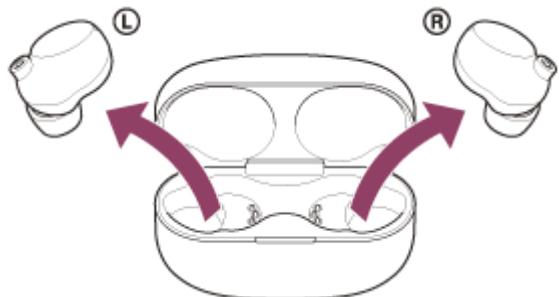
機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

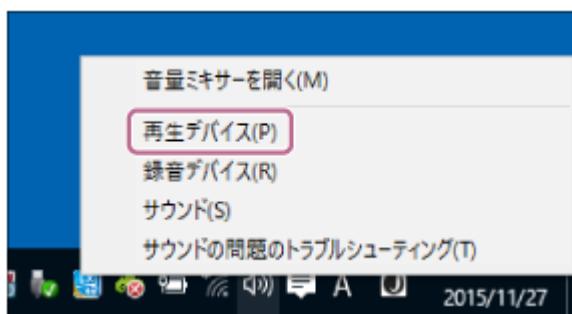
3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

4 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして【再生デバイス】を選ぶ。



2. [WF-1000XM4] を右クリックする。

[サウンド] 画面に [WF-1000XM4] が表示されていない場合は、[サウンド] 画面上で右クリックし、[切断されているデバイスの表示] にチェックを入れてください。



3. 表示されたメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了します。両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

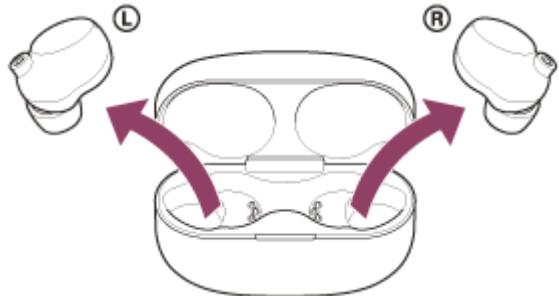
機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

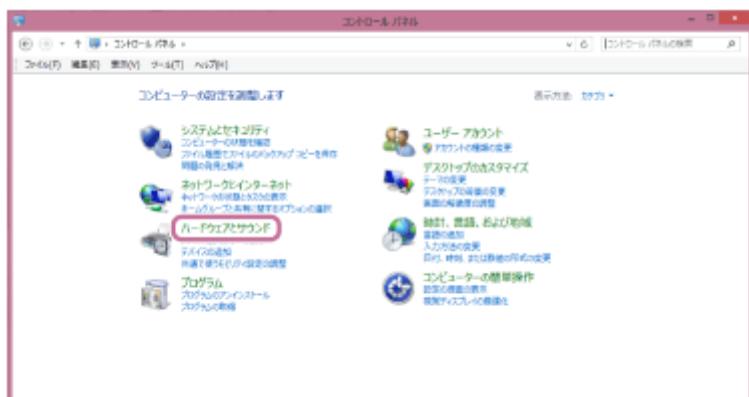
③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

④ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

- スタート画面から、[デスクトップ] を選ぶ。
- [スタート] ボタンを右クリックして、ポップアップメニューから [コントロールパネル] を選ぶ。
- [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] の順に選ぶ。



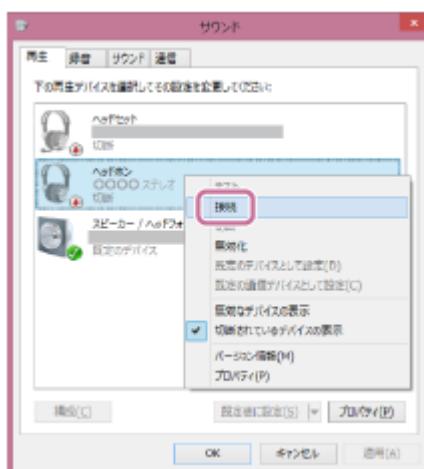


4. [WF-1000XM4] を右クリックする。

[サウンド] 画面に [WF-1000XM4] が表示されていない場合は、[サウンド] 画面上で右クリックし、[切断されているデバイスの表示] にチェックを入れてください。



5. 表示されたメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了します。両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）

対応OS

macOS（バージョン10.14以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

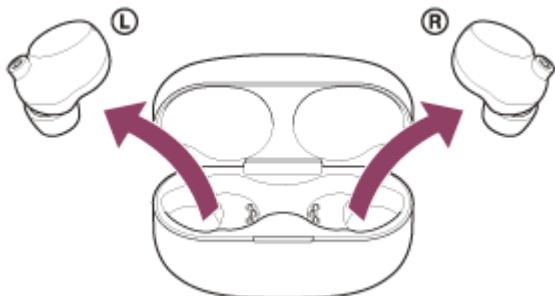
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

パソコンのスピーカーがONモードの状態



① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

④ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. 画面右下のタスクバーで [(システム環境設定)] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



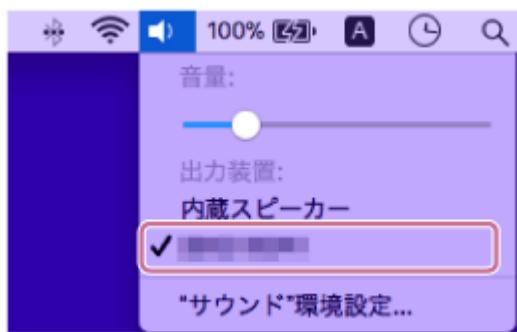
2. [Bluetooth] 画面で、パソコンのControlボタンを押しながら [WF-1000XM4] をクリックし、ポップアップメニューから [接続] を選ぶ。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

5 画面右上のスピーカーアイコンをクリックし、[WF-1000XM4] を選ぶ。

パソコンの音楽再生などをお楽しみいただけます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。

- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

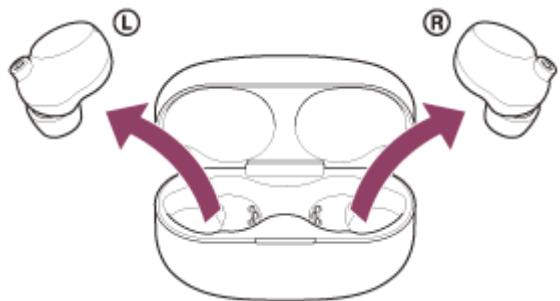
Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

1 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



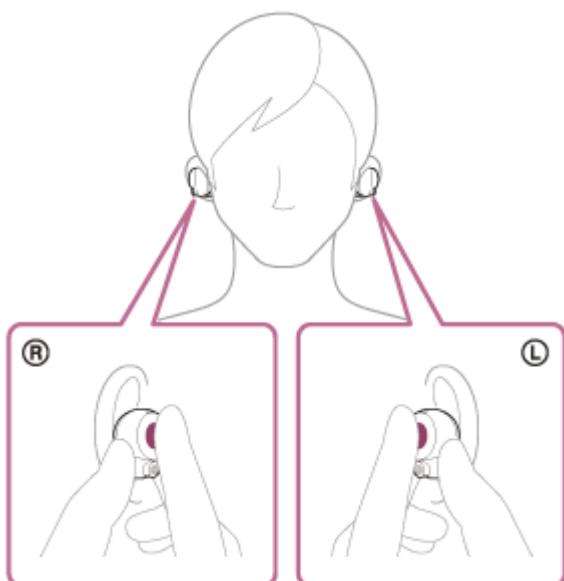
自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録モードになります。この場合は、ヘッドセットを両耳に装着して、手順3に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、ヘッドセットを両耳に装着して、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにします。

正しくタップすると、音が鳴ります。



両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。

③ Bluetooth機器で機器登録操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出した機器の一覧に【WF-1000XM4】と表示されます。
表示されない場合は、もう一度手順2から行ってください。

④ Bluetooth機器の画面に表示されている【WF-1000XM4】を選び、互いの機器を登録する。

パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

⑤ Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行う。

機器登録が完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、いったんヘッドセットを充電ケースにセットして、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

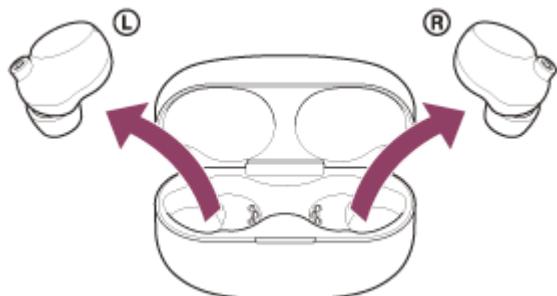
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

1 充電ケースからヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動的に接続したときは、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

接続すると、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に【WF-1000XM4】【LE_WF-1000XM4】の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または【WF-1000XM4】が表示される場合は【WF-1000XM4】を、【LE_WF-1000XM4】が表示される場合は【LE_WF-1000XM4】を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

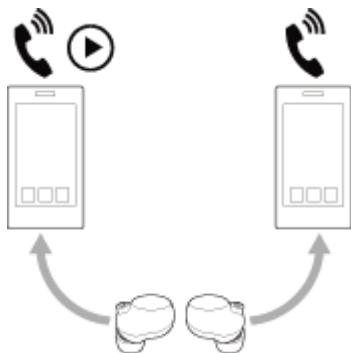
5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

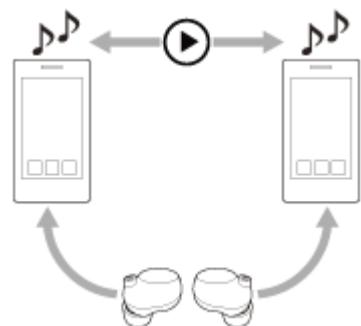
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

“Sony | Headphones Connect”アプリで【2台の機器と同時に接続】をオンにすると、ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

接続する前に、2台の機器のうちいずれか一方に“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていることを確認してください。

- 1 ヘッドセットと2台の機器を、それぞれ機器登録（ペアリング）する。
- 2 “Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされている機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 “Sony | Headphones Connect”アプリで、【2台の機器と同時に接続】をオンにする。
- 4 2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。

2台の機器をBluetooth接続した状態で、機器登録（ペアリング）済みの別の機器をBluetooth接続することができます。

3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとすると、最後に音楽再生していた機器のBluetooth接続は維持され、もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
 - もう一方の機器から音楽を再生したいときは、音楽再生している機器の再生を停止し、もう一方の機器を操作して音楽を再生します。
- 1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めても、ヘッドセットからは1台目からの音楽が継続して聞こえます。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目からの音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンなどを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
 - 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。ヘッドセットで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。
- 1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がヘッドセットから聞こえるようになります。

関連項目

- ["Sony | Headphones Connect"アプリでできること](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [対応コーデックについて](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

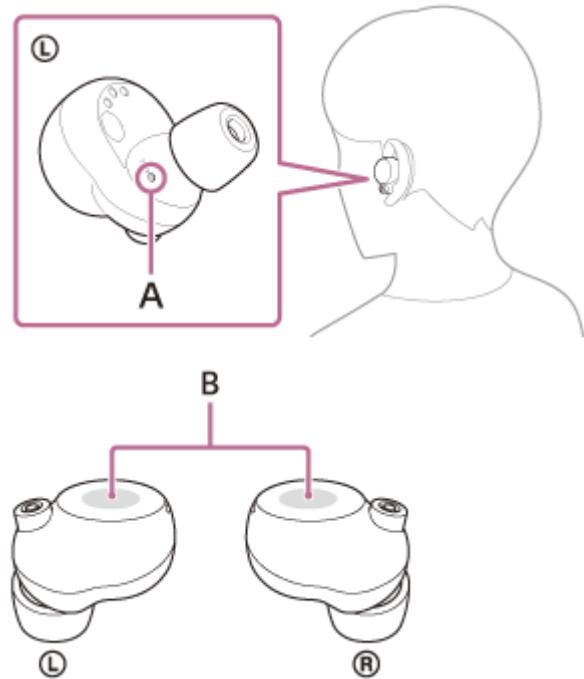
お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
音量調節などの操作ができます。

操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

① ヘッドセットを耳に装着する。

- ① (左) マーク表示のあるほうを左耳に、② (右) マーク表示のあるほうを右耳に装着します。L側には凸点(突起)がついています。
耳に装着するときは、タッチセンサーに触れないように注意してください。



A : 凸点 (突起)
B : タッチセンサー (左、右)

ヘッドセットを回転させて耳穴をしっかりと塞ぎ、装着感のよい位置に調整してください。



- ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。
- Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。

ヒント

- お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを両耳に装着して音楽を再生しているときに片側または両側のヘッドセットを取り外すと、再生が一時停止します。取り外したヘッドセットを耳に装着すると再生を再開します。
- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- 通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 充電ケースから片側のヘッドセットだけを取り出して耳に装着し、片耳で音楽を聞くこともできます。
R側だけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
L側だけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
片側のヘッドセットで音楽を聞いているときにもう一方のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で音楽を聞くことができます。

ご注意

- お買い上げ時の状態では、音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。接続機器側で音量を調節できない場合は、スマートフォン用アプリ“Sony | Headphones Connect”をインストールし、アプリ上で調節してください。“Sony | Headphones Connect”アプリをお使いの場合は、タッチセンサーに音量調節機能を割り当てることもできます。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

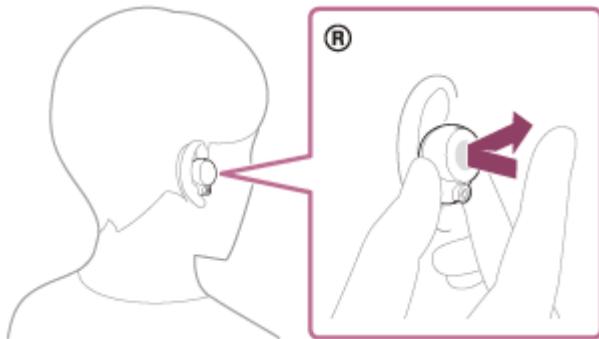
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音楽再生時にできること (Bluetooth接続)

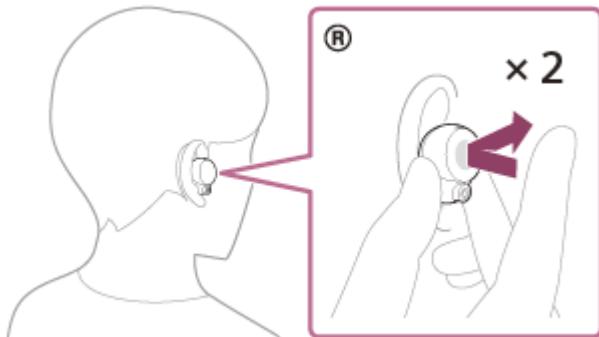
お使いのBluetooth機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によって利用できる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

R側のタッチセンサーを使って、以下の操作ができます。

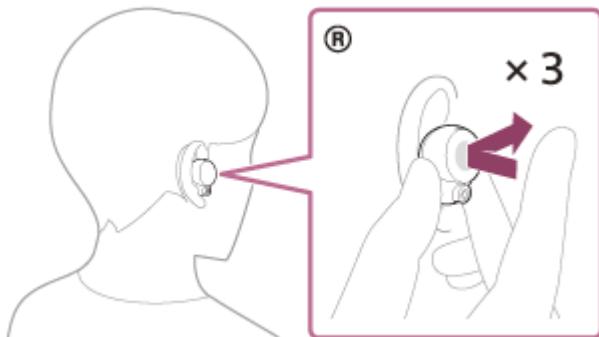
- 再生／一時停止：タッチセンサーをタップします。



- 次の曲の頭出し：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップします。



- 前（または再生中）の曲の頭出し：タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）3回タップします。



“Sony | Headphones Connect”アプリで、タッチセンサーに音量調節機能を割り当てた場合は、機能を割り当てた側のタッチセンサーを使って、以下の操作ができます。

- 音量を上げる：再生中にタッチセンサーをタップします。音量が1ステップ上がります。
- 音量を下げる：再生中にタッチセンサーに触れたままにします。音量が連続して下がります。適度な音量になったらタッチセンサーから指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ご注意

- お買い上げ時の状態では、音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。接続機器側で音量を調節できない場合は、スマートフォン用アプリ“Sony | Headphones Connect”をインストールし、アプリ上で調節してください。“Sony | Headphones Connect”アプリをお使いの場合は、タッチセンサーに音量調節機能を割り当てることもできます。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

切断すると、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、切断しました」が流れます。

2 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

電源が切れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

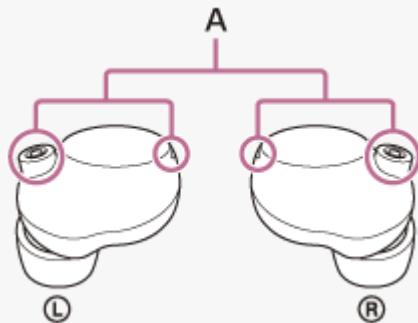
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能とは、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

ご注意

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなつたと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着しなおしてください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対して最も効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話からヘッドセットを離してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなつたり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。



A : マイク (左、右)

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ノイズキャンセリング機能を使う

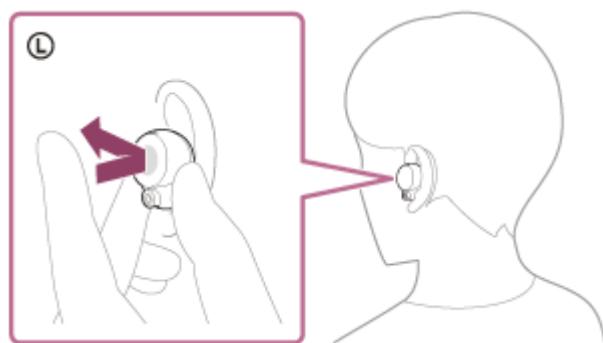
ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

① ヘッドセットを充電ケースから取り出し、耳に装着する。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットを耳に装着すると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。

2回目以降は、前回の設定が保持されます。

② L側のタッチセンサーをタップして、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



タップするたびに機能が次のように切り替わります。

外音取り込み機能「オン」

音声ガイダンス「アンビエントサウンド」が流れます。



ノイズキャンセリング機能「オン」

音声ガイダンス「ノイズキャンセリング」が流れます。

取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0023/ja/>

ヒント

- ノイズキャンセリング機能のオン／オフの切り替え、ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリでも変更できます。
- L側のヘッドセットをタップしたときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → 外音取り込み機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → 外音取り込み機能「オフ」
 - 外音取り込み機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オフ」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
- ヘッドセットの片側のみを装着した場合、前回の設定がノイズキャンセリング機能になっていても、外音取り込み機能がオンになります。両側のヘッドセットを装着すると、ノイズキャンセリング機能がオンになります。

ご注意

- 付属のイヤーピースを使用しないと、ノイズキャンセリング機能の効果が充分に発揮できません。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、ノイズキャンセリング機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。

関連項目

- [音声ガイダンスについて](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

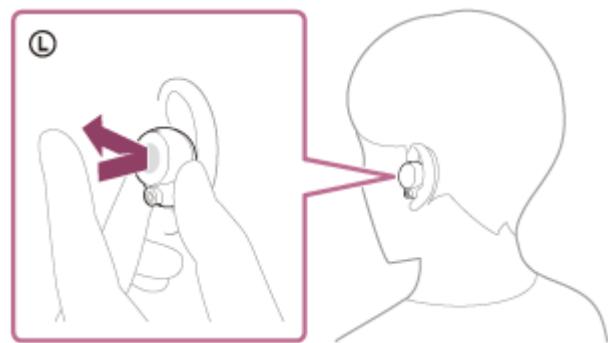
WF-1000XM4

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）を使用するには

ノイズキャンセリング機能がオンの状態で、L側のタッチセンサーをタップします。



外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の設定を変更するには

ヘッドセットを“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとBluetooth接続して、外音取り込み機能の設定を変更できます。

ボイスフォーカス：騒音を抑えつつアナウンスや人の声のみを取り込み、音楽と一緒に聞こえるようにします。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにするには

L側のタッチセンサーをタップして、外音取り込み機能をオフにします。

タップするたびに機能が次のように切り替わります。

ノイズキャンセリング機能「オン」

音声ガイダンス「ノイズキャンセリング」が流れます。



外音取り込み機能「オン」

音声ガイダンス「アンビエントサウンド」が流れます。

取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0023/ja/>

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。一度設定を変更すれば、“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能をオンにするだけで記憶された設定で聞くことができます。
- L側のヘッドセットをタップしたときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → 外音取り込み機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → 外音取り込み機能「オフ」
 - 外音取り込み機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 左右のヘッドセットのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。
また、ヘッドセットにはハウリングの発生を検出し、短時間でハウリングを停止させる機能を搭載しています。
まれに報知音、電子音などの高い音に反応し、一時にノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が停止する場合がありますが、約1秒後に自動的に復帰します。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能をオンにすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能をオンにするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにしてご使用ください。

関連項目

- [音声ガイダンスについて](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

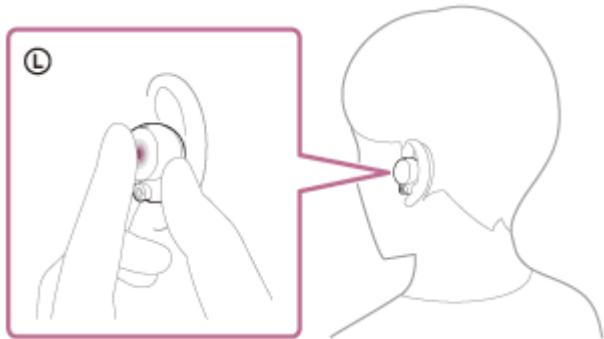
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げて、周囲の音をさらに聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

L側のタッチセンサーに触れたままにします。クイックアテンションモードは、タッチセンサーに触れている間だけ動作します。



クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーから指を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0024/ja/>

ご注意

- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。
- お使いになるイヤーピースのサイズによっては、クイックアテンションモードの効果が感じにくい場合があります。周囲の音が最も聞こえにくくなるサイズをお選びください。

関連項目

- [イヤーピースを交換する](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

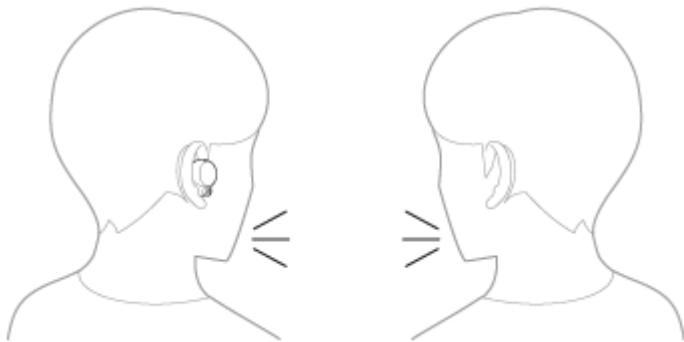
WF-1000XM4

ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

事前にスピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておくと、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。再生中の音楽は、一時停止または消音し、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくなります。

ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。

その前に終了したいときは、左右どちらかのタッチセンサーをタップしてください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、あらかじめヘッドセットの音声自動検出を有効にしておく必要があります。

お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更してください。

スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

無効にするには、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更してください。

取扱説明動画について

スピーク・トゥ・チャットの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0025/ja/>

ヒント

- スピーク・トゥ・チャットモードは以下の場合にも終了します。
 - 装着検出による自動電源オフ機能が有効な場合、両側のヘッドセットを耳から取り外したとき
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替えのほかに、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出して起動しますが、まれに意図せずに歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌などの振動などに反応して起動することがあります。スピーク・トゥ・チャットモードが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットを「低感度」に設定してください。
- スピーク・トゥ・チャットモード起動時に再生中の音楽が一時停止されるのはBluetooth接続時のみです。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、スピーク・トゥ・チャットモード起動時の再生中の音楽の一時停止やスピーク・トゥ・チャットモード終了時の音楽の再開には対応していません。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音質モードについて

Bluetooth再生時の音質モードを次の2通りから選べます。“Sony | Headphones Connect”アプリで、設定を切り替えたり、音質モードを確認したりすることができます。

音質優先モード：再生音質を優先します。

接続優先モード：接続の途切れにくさを優先します（お買い上げ時の設定）。

- 再生音質を優先したいときは、音質優先モードに設定してください。
- 音切れしやすいなど接続が不安定なときは、接続優先モードに設定してください。

ご注意

- 音質や使用条件などにより、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、接続優先モードにしても音の途切れが改善されない場合もあります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。ヘッドセットが音楽再生の接続（A2DP）時に対応しているコーデックは、SBC、AAC、LDACの3種類です。

- SBC

Subband Codecの略です。

SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。

Bluetooth機器は必ずSBCに対応しています。

- AAC

Advanced Audio Codingの略です。

AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。

- LDAC

LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC等の既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します（*）。

また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍（**）のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。

** 990 kbps (96/48 kHz) または909 kbps (88.2/44.1 kHz) のビットレートを選択した場合のSBCとの比較。

接続機器が上記のいずれかのコーデックで音楽を送信してきたとき、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。

LDACで再生したい場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリを使用して、音質モードを「音質優先モード」に設定してください。「接続優先モード」（お買い上げ時の設定）では、LDACでの再生ができません。

SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。

コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご確認ください。

関連項目

- 音質モードについて

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

DSEE Extremeについて

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、MP3などの高圧縮音源もCD以上の高解像になり、よりクリアな躍動感あるサウンドを楽しめます。さらに、周波数特性の補完には、AI（人工知能）技術を用いることで、高音域の補完性能が向上しました。
“Sony | Headphones Connect”アプリで、設定を切り替えることができます。

ご注意

- DSEE Extremeを「有効（オン）」に設定していると、使用可能時間が短くなります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [使用可能時間](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

電話を受ける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP (Hands-free Profile) またはHSP (Headset Profile) に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、タッチセンサーの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

着信音について

着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえます。

ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォン／携帯電話によって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォン／携帯電話の着信音
- スマートフォン／携帯電話のBluetooth接続専用の着信音

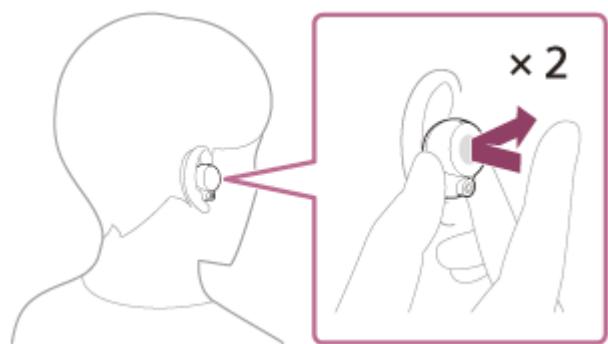
1 あらかじめヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続しておく。

2 着信したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を受ける。

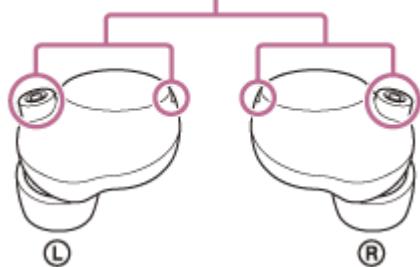
ヘッドセットから音声が聞こえます。

音楽再生中に着信すると、音楽が一時停止し、着信音が聞こえます。

ヘッドセットのマイクを通して会話できます。



A



A : マイク (左、右)

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

- HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話側の接続状況を確認してください。
- 再生中の音楽が自動的に一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。

③ スマートフォン／携帯電話を操作して、音量を調節する。

④ 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に着信した場合は、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFPまたはHSP接続の場合、L側かR側のどちらかのタッチセンサーに約2秒間触れたままにするか、スマートフォン／携帯電話を操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも、通話ができます。着信したら、装着しているヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう一方のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- 一部のスマートフォン／携帯電話では、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- 音量調節機能をタッチセンサーに割り当てても、通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。接続機器側で音量を調節できない場合は、スマートフォン用アプリ“Sony | Headphones Connect”をインストールし、アプリ上で調節してください。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話をかける](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

電話をかける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、タッチセンサーの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

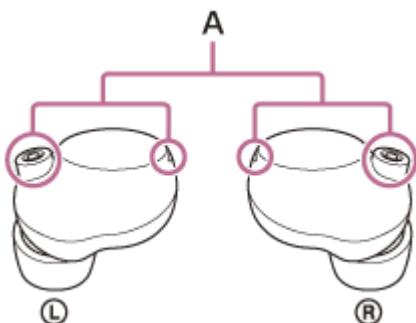
① ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続する。

② お使いのスマートフォン／携帯電話を操作して発信する。

発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。

音楽再生中に発信すると、音楽が一時停止します。

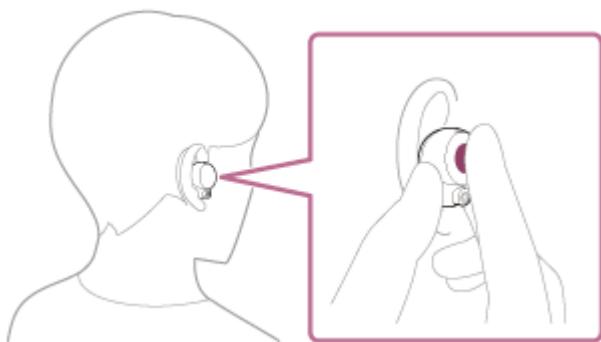
ヘッドセットのマイクを通して会話できます。



A : マイク（左、右）

ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は

- スマートフォンや携帯電話を操作するか、L側かR側のどちらかのタッチセンサーに約2秒間触れたままにして、ヘッドセットに音声を切り替えてください。



③ スマートフォン／携帯電話を操作して、音量を調節する。

④ 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも、通話ができます。片側のヘッドセットで通話中にもう一方のヘッドセットを耳に装着すると、両耳で通話できます。

ご注意

- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- 音量調節機能をタッチセンターに割り当てても、通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。接続機器側で音量を調節できない場合は、スマートフォン用アプリ“Sony | Headphones Connect”をインストールし、アプリ上で調節してください。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話を受ける](#)
- [通話時にできること](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

通話時にできること

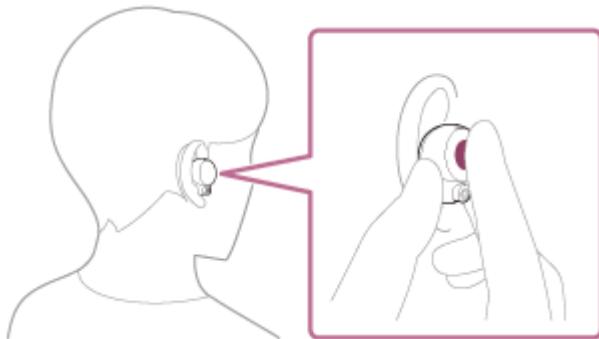
通話時にできることは、お使いのスマートフォン／携帯電話が対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォン／携帯電話によって利用できる機能が異なります。

お使いの接続機器やアプリケーションによっては、タッチセンサーの操作で機能が正しく動作しない場合があります。
お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォン／携帯電話がHFP（Hands-free Profile）対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

- R側のタッチセンサーに約2秒間触れたままにすると、スマートフォン／携帯電話のボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンのGoogle™アプリ、iPhoneのSiriを起動します。

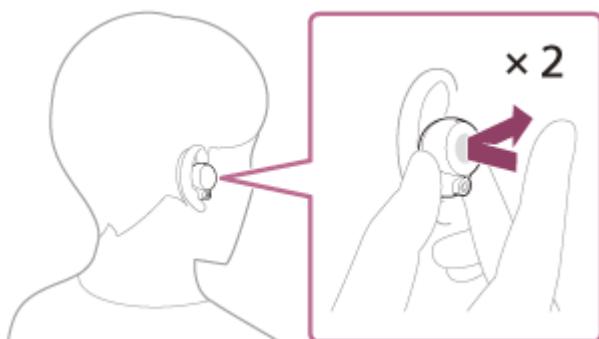


発信中

L側／R側のどちらのタッチセンサーでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーをすばやく（約0.3秒間隔で）2回タップすると、発信を中断します。



ノイズキャンセリング機能を割り当てていない側（お買い上げ時の状態ではR側）で以下の操作ができます。

- タッチセンサーに約2秒間触れたままにすると、通話機器をヘッドセット ⇄ スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

着信中

L側／R側のどちらのタッチセンサーでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーをすばやく2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーに約2秒間触れたままにすると、着信を拒否します。

通話中

L側／R側のどちらのタッチセンサーでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーをすばやく2回タップすると、通話を終了します。

ノイズキャンセリング機能を割り当てていない側（お買い上げ時の状態ではR側）で以下の操作ができます。

- タッチセンサーに約2秒間触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇒スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

スマートフォン／携帯電話がHSP（Headset Profile）対応のとき

L側／R側のどちらのタッチセンサーでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

発信中

- タッチセンサーをすばやく2回タップすると、発信を中断します。

着信中

- タッチセンサーをすばやく2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- タッチセンサーをすばやく2回タップすると、通話を終了します。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

① ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。

② パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。

③ ビデオ通話用アプリの設定 (*) を確認する。

- パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続 (A2DP) ではなく、通話の接続 (HFP/HSP) を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
- スピーカーの設定で、通話の接続 [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] (**) を選択します。
([ヘッドホン (WF-1000XM4 Stereo)] (**) は音楽再生の接続です。)
- マイクの設定で、通話の接続 [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] (**) を選択します。マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続 [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] (**) や音楽再生の接続 [ヘッドホン (WF-1000XM4 Stereo)] (**) を選択できず、[WF-1000XM4] のみ表示される場合があります。その場合は、[WF-1000XM4] を選択してください。
- その他、よくあるお問い合わせとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご参照ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。

** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続 [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] を選択できない場合は、パソコンの設定から [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] を選択し、接続してください。「[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）](#)」、「[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)」、「[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)」をご参照ください。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャット機能が有効になっている場合、マイクの設定を正しく選択していない場合は、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されることがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってスピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）](#)

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- サポートホームページで調べる

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

切断すると、両側のヘッドセットから音声ガイダンス「ブルートゥース、切断しました」が流れます。

2 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

電源が切れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Google アシスタントを使う

スマートフォンに搭載されているGoogle アシスタントを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- Android 6.0以降（Googleアプリが最新版にアップデートされている必要があります）

1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、タッチセンサーの機能をGoogle アシスタントに変更する。

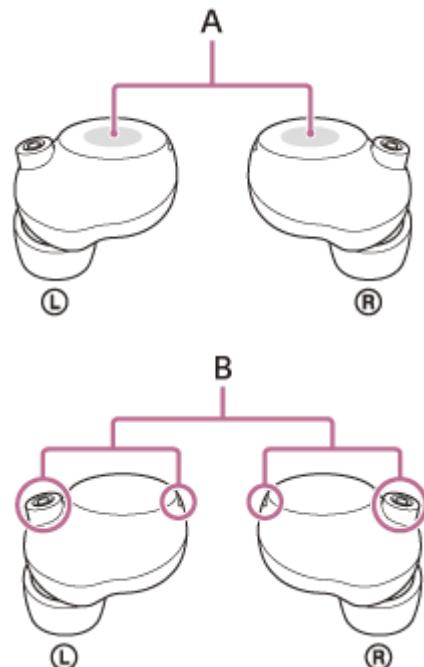
タッチセンサー機能にGoogle アシスタントを割り当てるができるのは、音楽再生機能を割り当てているヘッドセットです。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

初回接続時は、Google アシスタントを起動して会話画面で【ヘッドフォンの設定を完了】をタッチし、スマートフォン画面の指示に従ってGoogle アシスタントの初期設定を完了してください。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

2 「Ok Google」などと呼びかける、もしくはタッチセンサーを操作して、Google アシスタントを使う。



A : タッチセンサー（左、右）

B : マイク（左、右）

- タッチセンサーに触れたままにすると音声入力が開始され、指を離すと音声入力を終了します。
- タッチセンサーに触れている間に音声入力が確認されない場合、指を離すと通知を読み上げます。

Google アシスタントの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。

https://assistant.google.com/intl/ja_jp/

Google アシスタントでヘッドセットの操作をする

Google アシスタントで特定のワードを呼びかけることで、ノイズキャンセリングの設定などのヘッドセットの操作を行なうことができます。

詳細については、以下のホームページ（*）をご覧ください。

<https://support.google.com/assistant/answer/7172842#headphones>

* ホームページで案内されているすべての仕様に対応しているわけではありません。

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle アシスタントが使用できないときは、ヘッドセットの両側（片側だけを装着している場合は装着している側）から音声ガイダンス「Google アシスタントが接続されていません」が流れます。
- Google アシスタントの会話画面で【ヘッドフォンの設定を完了】が表示されていないときは、スマートフォンのBluetooth設定からヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報を削除して、もう一度機器登録を行ってください。
音楽再生機能を割り当てていない側ではGoogle アシスタントの機能は使用できません。
“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

ご注意

- Google アシスタントの機能とAmazon Alexaの機能を、同時に設定することはできません。
- Google アシスタントは、一部の国や地域、言語では使用できません。
- Google アシスタントでヘッドセットの操作をする機能は、Google アシスタントの仕様によります。
- Google アシスタントの仕様は予告なく変更になる場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Amazon Alexaを使う

スマートフォンにインストールされているAmazon Alexaアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- AndroidまたはiOSでAmazon Alexaアプリ最新版が対応しているOSバージョン
- Amazon Alexaアプリ最新版がインストールされている必要があります。
 1. モバイルデバイスでアプリストアを開く。
 2. Amazon Alexaアプリを検索する。
 3. インストールを選ぶ。
 4. 開くを選ぶ。

1 ヘッドセットを耳に装着して、スマートフォンとBluetooth接続する。

2 Amazon Alexaアプリを起動する。

タッチセンサー機能にAmazon Alexaを割り当てる能够は、音楽再生機能を割り当てているヘッドセットです。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

初めてAmazon Alexaを使うときは、Amazonアカウントでログインして手順3に進み、Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録します。

すでにAmazon Alexaアプリに登録した場合でも、R側のヘッドセットのタッチセンサーにAmazon Alexa以外の機能が設定されているときは、「ヒント」の項目をご覧になり、L側のヘッドセットのタッチセンサーにAmazon Alexaの機能を設定しなおしてください。

3 Amazon Alexaの初期設定をする。

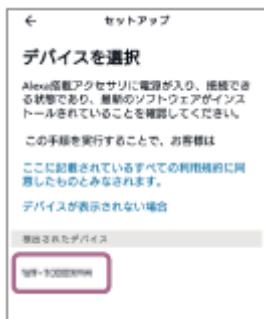
1. Amazon Alexaアプリ画面の右下にある【その他】アイコンをタッチし、【デバイスを追加】をタッチする。



2. 【セットアップするデバイスを選択】画面で【ヘッドホン】を選ぶ。



3. [デバイスを選択] 画面の [検出されたデバイス] から [WF-1000XM4] を選ぶ。



[検出されたデバイス] に [WF-1000XM4] が表示されない場合は、ヘッドセットとスマートフォンが Bluetooth接続されていません。ヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続してください。

4. [Alexaを設定するデバイス： WF-1000XM4] 画面で [次へ] をタッチする。



5. [このアクセサリでの現在の音声アシスタント設定が無効になります] という画面が表示された場合は [次へ] をタッチする。

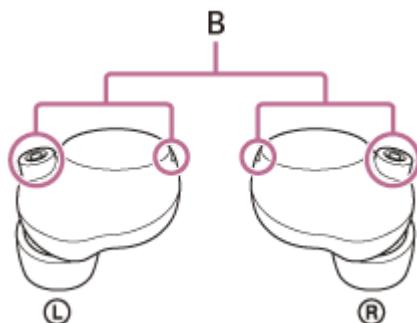
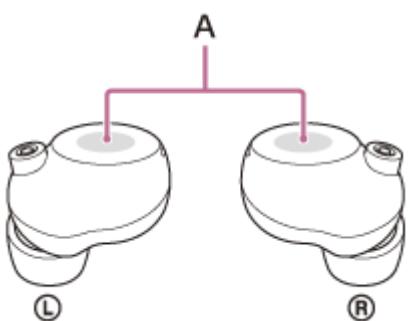


6. [セットアップ完了] 画面が表示されたら [完了] をタッチする。



初期設定が完了すると、R側（L側だけを装着して初期設定をした場合はL側）のヘッドセットのタッチセンサーの機能がAmazon Alexaに変わります。

④ ウェイクワード（*）（「アレクサ」）で呼びかける、もしくはAmazon Alexaの機能が設定されている側のタッチセンサーを操作してAmazon Alexaを使う。



A : タッチセンサー（左、右）

B : マイク（左、右）

- タッチセンサーを触れたままにして、音声入力する。
例：
「今日の天気は？」
「音楽をかけて（**）」
- 音声入力しないと自動的にキャンセルされます。

* ウェイクワードの設定には、“Sony | Headphones Connect”アプリで【音声アシスタントを声で起動】を有効にしてください。

** AmazonやPrime Musicの会員登録が必要です。

Amazon Alexaでできることについては、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.amazon.com/b?node=16067214011>

ヒント

- Amazon Alexaアプリでヘッドセットを登録すると、自動的にR側（L側だけを装着して初期設定をした場合はL側）のタッチセンサーの機能がAmazon Alexaに設定されます。タッチセンサーの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。以前Amazon Alexaに接続したことがあって、タッチセンサーに他の機能が設定されている場合でも、同様にAmazon Alexaの機能に設定しなおすことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でAmazon Alexaが使用できないときは、両側から音声ガイダンス「モバイルデバイスが接続されてないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」が流れます。
- Amazon Alexaの機能は、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てる側のヘッドセットに設定することができます。片側だけでAmazon Alexaの機能を使用したい場合は、使用したい側のヘッドセットのタッチセンサーに音楽再生機能を割り当て、Amazon Alexaの機能を設定してください。
音楽再生機能を割り当てていない側ではAmazon Alexaの機能は使用できません。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

ご注意

- Amazon Alexaの機能とGoogle アシスタントの機能を、同時に設定することはできません。
- Amazon Alexaの機能を設定した側のヘッドセットだけを耳に装着してAmazon Alexaの機能をお使いいただくこともできます。Amazon Alexaの機能を設定した状態で片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、Amazon Alexaの機能を設定した側のヘッドセットをお使いください。“Sony | Headphones Connect”アプリで、設定をご確認ください。
- Amazon Alexaは、一部の国や地域、言語では使用できません。Alexaの機能はお使いの場所によって異なる場合があります。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで「設定」 - 「アプリと通知」 - 「詳細設定」 - 「標準のアプリ」 - 「アシストと音声入力」を選び、「アシストアプリ」をGoogleアプリに設定します。

上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

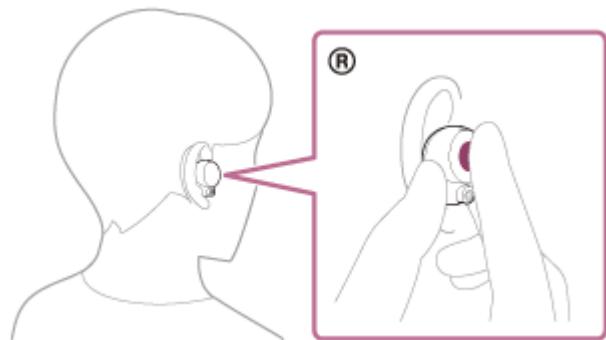
注：最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。

Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playストアのウェブページをご覧ください。

Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

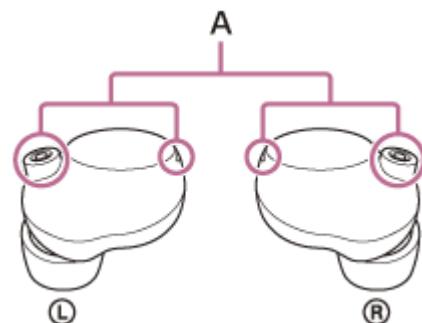
2 ヘッドセットを耳に装着し、Android搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒間触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットのマイクを通して、Googleアプリに頼みごとをする。



A : マイク（左、右）

Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリを起動した後、頼みごとをしないで一定時間たつと、音声入力が解除されます。

ご注意

- L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をGoogleアシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をAmazon Alexaに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- Android搭載スマートフォンで“Ok Google”を有効にしていても、“Ok Google”的音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

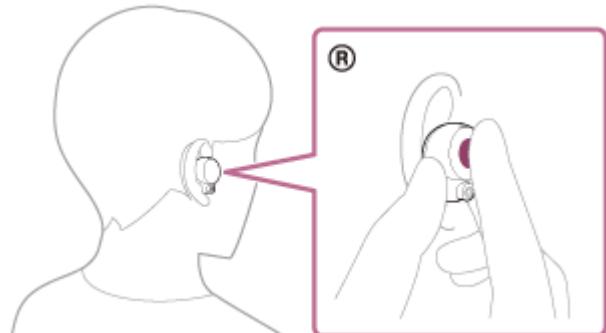
iPhoneで【設定】 - 【Siriと検索】の順に選び、【ホームボタンを押してSiriを使用】と【ロック中にSiriを許可】をオンにします。

上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

注：Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

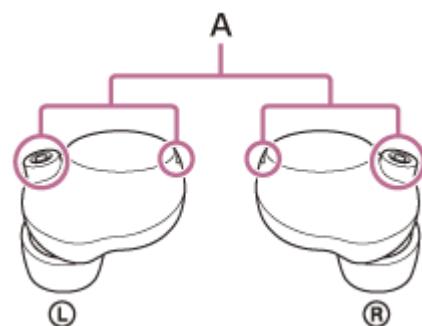
2 ヘッドセットを耳に装着し、iPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒間触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットのマイクを通して、Siriに頼みごとをする。



A : マイク（左、右）

Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしていても、“Hey Siri”的音声でSiriを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンにより Siriが起動しない場合があります。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリでできること

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとヘッドセットをBluetooth接続すると、以下のことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアアップデート
- 音声ガイダンスの言語変更
- 音声ガイダンスのオン／オフ切り替え
- タッチセンサーの機能を変更
- Bluetooth接続モード設定（音質モード）
- ヘッドセットの電源オフ
- 装着検出による自動再生停止／再生再開機能の設定
- 装着検出による自動電源オフ機能の設定
- Amazon Alexaのウェイクワードのオン／オフ切り替え
- マルチポイント接続（2台の機器と同時に接続）のオン／オフ切り替え
- マルチポイント接続中の機器変更
- ヘッドセットの初期化
- イヤーピース選択アシスト
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認
- Bluetooth接続コードックの表示
- ヘッドセットの充電式電池の残量表示
- 充電ケースの充電式電池の残量表示
- 充電を促すポップアップメッセージの表示（充電ケースの充電式電池残量が少ないときに表示します）
- イコライザー／CLEAR BASS設定
- イコライザー設定のカスタム設定
- DSEE Extreme（高音域補完）設定
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモードを調整（外音コントロール）
- ヘッドセットからノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能を切り替える際の切り替えパターン設定
- 行動検出によるノイズキャンセリング機能の自動調整（アダプティブサウンドコントロール）
- 自動風ノイズ低減モード設定
- スピーカー・トゥ・チャット音声自動検出の有効／無効の切り替えと設定
- 音楽の再生／一時停止、前（または再生中）の曲の頭出し／次の曲の頭出し
- 音楽再生時／通話時の音量調節
- 簡単ペアリング

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

ヒント

- オーディオ機器によって“Sony | Headphones Connect”アプリでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする
- 充電式電池の残量を確認する
- 音質モードについて
- ノイズキャンセリング機能を使う

- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- 対応コーデックについて
- 音声ガイダンスについて
- タッチセンサーについて
- ヘッドセットを装着する
- DSEE Extremeについて
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

- 1 Google PlayストアまたはApp Storeから“Sony | Headphones Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect

- 2 インストールが終了したら“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る

“Sony | Headphones Connect”アプリから最新のサポート情報を見ることができます。

- ① “Sony | Headphones Connect”アプリ画面から【ヘルプ】を選択する。
- ② 【Headphones Connect ヘルプ】画面が開き、サポート情報が表示される。
- ③ 参照したい項目を選択する。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってヘッドセットの最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能をお楽しみいただけたり、いくつかの問題が解決することができます。

常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。

ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法について、詳しくはサポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

“Sony | Headphones Connect”アプリで [ソフトウェアの自動ダウンロード] 設定を有効にしている場合（お買い上げ時の設定）、自動的にソフトウェアのダウンロードと転送が開始されます。

以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

- ① “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに、サーバーからアップデート用ソフトウェアをダウンロードする。
- ② スマートフォンからヘッドセットへアップデート用ソフトウェアを転送する。
- ③ 画面の表示に従ってアップデートを行う。

ご注意

- ヘッドセットの自動電源オフ機能を無効に変更してからアップデートをすることをおすすめします。
お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを装着していない状態が15分続くと自動的に電源が切れます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- アップデートで使用しているモバイルデバイスに他のBluetooth機器が接続されている場合、アップデートが完了するまで、すべてのBluetooth機器の電源を切ってください。
モバイルデバイスにBluetooth Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点を注意してください。
 - モバイルデバイスにある、“Sony | Headphones Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
 - ヘッドセットとモバイルデバイスを充分に充電する。
 - ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
 - 周辺の無線LAN機器やBluetooth機器などの近くでアップデートを行わない。
 - アップデートはスマートフォンの省電力モード（*）をオフにして行う。
お使いのスマートフォンのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのスマートフォンによって異なります。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

静電気に関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じことがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

装着に関するご注意

- 使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。
- ヘッドセットは密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- タッチセンサーにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- ドライバーユニットに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなったり頭痛になった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により破損したり劣化するおそれがあります。
- 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合はご注意ください。
 - 洗面所などの使用
水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。

– 雨や雪、湿度の高い場所での使用

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

ヘッドセットを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセット（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。ヘッドセットをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットは磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ヘッドセットの防滴性能について

ヘッドセットの防滴性能について

- 充電ケースは、防水、防滴に対応しておりません。
- ヘッドセットは、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の「水の浸入に対する保護等級」であるIPX4相当の防滴仕様となっています。水中での使用はできません。
使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。
IPX4とは：あらゆる方向からの、飛沫に対して本体機能を保護するものです。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク穴（2箇所）は非耐水エリアです。
音導管、通気孔、マイク穴（2箇所）に水が入ったままになると、一時的に以下のような症状等が出ることがあります、故障ではありません。
 - 音が聞こえづらくなる
 - ノイズキャンセリングの効果が弱くなる
 - 異常な音が出る
 - 通話音声が聞こえづらくなる

対象となる液体

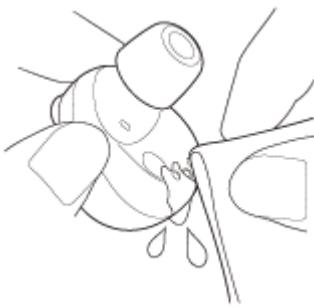
対象：	真水、水道水、汗
非対象：	上記以外の液体（例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、プールの水、海水など）

性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

性能を保つために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- 音出口に向けて、水を強く当てないでください。
- 水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。
- 寒冷地などでは、凍結するおそれがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- ヘッドセットを水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- ヘッドセットを落下させたり、衝撃を与えるなりしないでください。変形や破損により、性能劣化の原因となることがあります。
- ヘッドセットに水がかかった場合は、
 - ヘッドセットに付着した水滴は乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
 - イヤーピースを取りはずして音導管と通気孔を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。
 - マイク穴（2箇所）を下に向け、乾いた布などに5回程度軽くたたくように当てて内部にたまつた水を出してください。
 - その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。
- ヘッドセットが汗などで濡れたまま充電すると、端子が腐食します。充電する前に乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取り、常温で放置して乾燥させてから充電してください。



- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で清掃してください。
- ズボンやシャツの胸ポケットに入れたまま洗濯をしないでください。



- ひび割れや変形が見られるときは、水のかかる場所でのご使用を控えていただきか、ソニーの修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/21/>

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対してもいかなる責任も負いません。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- iPhone、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Amazon、Alexa及び関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- LDACおよびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。
- "DSEE"、"DSEE Extreme"はソニー株式会社の商標です。

その他、本ヘルプガイドに記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますのでお買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイド、および取扱説明書、使用上のご注意／主な仕様をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。 詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセットの補修用部品を製造終了後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

電話・ファックスで問い合わせる

ヘッドセットについてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記の問い合わせ先をご利用ください。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- セット本体に関するご質問時：

- 型名：WF-1000XM4
- 製造（シリアル）番号：充電ケースの底面に記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

- 接続に関するご質問時：

質問の内容によっては、ヘッドセットに接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

SONY

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

サポートホームページで調べる

<https://www.sony.jp/support/headphone/>

接続対応機器情報、サポート情報、よくあるお問い合わせ（困ったときは）とその回答をご案内しています。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは」で調べる。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉める。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットを充電する。
充電することで問題が解決することがあります。
- 接続機器を再起動する。
お使いのパソコン・スマートフォンなどの接続機器を再起動することで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットする。
- ヘッドセットを初期化する。
音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照ください。

関連項目

- [充電する](#)
- [保証書とアフターサービス](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

電源が入らない

- 充電式電池が充分に充電されているか確認してください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットして充電しているときにはヘッドセットの電源を入れることができません。充電ケースからヘッドセットを取り出して、電源を入れてください。
- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- タッチセンサーへの機能割り当てや音声アシスタントの設定によっては、片耳使用できないことがあります。
以下に従い、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を確認してください。

音声アシスタントの設定	仕様
[モバイル機器の音声アシスト機能] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。
[Google アシスタント] または [Amazon Alexa] に設定	タッチセンサーへの機能割り当てが [再生コントロール] になっている側のみ使用可能です。 使用したいヘッドセット側のタッチセンサーへの機能割り当てを [再生コントロール] に設定してください。 お買い上げ時はR側に [再生コントロール] が設定されています。 左右両方に [再生コントロール] を割り当てる場合は、R側のみ使用できます。
[使用しない] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。

- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

関連項目

- [充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

充電できない

- ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされているか確認してください。
- 必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用してください。
- USB Type-Cケーブルが充電ケースおよびUSB ACアダプターやパソコンにしっかりと接続されているか、またはUSB ACアダプターが電源コンセントにしっかりと接続されているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態に入っている場合は解除してください。
- パソコンのOSがWindows 8.1の場合はWindows Updateで最新の状態にしてください。
- イヤーピースが本体に正しく装着されていないと、付属のケースにて充電されない場合があります。本体をケースに装着するときは、イヤーピースの装着状態をご確認ください。
- 他社製のイヤーピースを使用していると、付属のケースにて充電されない場合があります。付属のイヤーピースを使用して充電してください。
- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは充電できない可能性があります。乾いた柔らかい布で清掃してください。
- 周囲の温度が15 °C～35 °Cの範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電時は充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ワイヤレス充電時は、充電ケースの置き位置がずれると、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

関連項目

- [充電する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

使用時間が短い、電池の持ちが悪い

- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が短くなります。
 - 自動風ノイズ低減
 - スピーカー・トゥ・チャット
 - イコライザー
 - DSSE Extreme
 - 音声でボイスアシスタントを起動させる機能
 - Bluetooth再生時の音質モード：音質優先
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側のバッテリー消費の速さが異なる場合がありますが、異常ではありません。
- ヘッドセットの使用後は必ず充電ケースに保管してください。ポケットなどに入れている場合、装着されていると認識し一定の時間が経過しても電源が切れないことがあります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

充電時間が長い

- 充電ケースとパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。
- 付属のUSB Type-Cケーブルを使用しているか確認してください。
- 各種機能の設定や使用条件により、L側とR側のバッテリー消費の速さが異なる場合があります。そのため、L側とR側のバッテリー充電時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 周囲の温度が15 °C～35 °Cの範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
- ワイヤレス充電時は、充電ケースの置き位置がずれると、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- 上記に当てはまらない場合は、パソコンを再起動し、USB接続をしなおしてください。

関連項目

- [充電する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

充電ケースをパソコンにつないでも充電できない

- 付属のUSB Type-CケーブルがきちんとパソコンのUSB端子に接続されているか確認してください。
- 充電ケースとパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。
- 接続しているパソコンのUSB端子に問題がある可能性があります。パソコンに別のUSB端子がある場合は、その端子に接続しなおしてください。
- 上記に当てはまらない場合は、パソコンを再起動し、USB接続をしなおしてください。

関連項目

- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

スマートフォンの画面にヘッドセットの充電式電池の残量が表示されない

- iPhone/iPod touchを含む、HFP (Hands-free Profile) をサポートしているiOS機器や、Android搭載スマートフォン (OS 8.1以降) のみ、充電式電池の残量が表示されます。
- スマートフォンがHFPで接続されているか確認してください。HFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。

関連項目

- [充電式電池の残量を確認する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音が出ない

- お使いのスマートフォンやパソコンのアプリ（HFP/HSPプロファイルを使用するもの）によっては、音声が片側からのみ聞こえる場合があります。
- パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBluetooth機器になっているか確認してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度機器登録（ペアリング）してください。
- スピーカ・トゥ・チャットモードが起動すると、音楽再生が一時停止します。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーを操作して、スピーカ・トゥ・チャットモードを終了してください。
- タッチセンサーへの機能割り当てや音声アシスタントの設定によっては、片耳使用できないことがあります。
以下に従い、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を確認してください。

音声アシスタントの設定	仕様
[モバイル機器の音声アシスト機能] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。
[Google アシスタント] または [Amazon Alexa] に設定	タッチセンサーへの機能割り当てが [再生コントロール] になっている側のみ使用可能です。 使用したいヘッドセット側のタッチセンサーへの機能割り当てを [再生コントロール] に設定してください。 お買い上げ時はR側に [再生コントロール] が設定されています。 左右両方に [再生コントロール] を割り当っている場合は、R側のみ使用できます。
[使用しない] に設定	L側、R側、どちらでも片側のみで使用可能です。

- ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めてください。
充電ケースにセットすることで問題が解決することがあります。
- お使いのスマートフォンやパソコンの再起動をしてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。
- マルチポイント接続で2台の機器と同時に接続しているとき、接続した機器によっては、音楽や動画などの再生を停止しても無音の信号を送り続けるものがあります。この場合、ヘッドセットはその機器と接続したままになり、別の機器に音が切り替わらないことがあります。1台目の機器で再生を停止しても、2台目の機器から音が聞こえない場合は、以下の順にお試しいただき、改善されるかご確認ください。
 - “Sony | Headphones Connect”アプリで、[2台の機器と同時に接続] がオンになっていることを確認する。
 - 1台目の機器のアプリケーションで再生を停止する。
 - 1台目の機器のアプリケーションを終了する。
 - “Sony | Headphones Connect”アプリの [接続中の機器] → [接続機器の管理] から再生したい端末を選択した後、再生の操作をする。

関連項目

- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- リセットする
- 初期化する

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音が小さい

- 接続先の機器で音量を調節してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーに音量調節の機能を割り当てた場合は、音楽再生時の音量はヘッドセットでも調節できます。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーに音量調節の機能を割り当てた場合でも、通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側で調節してください。接続機器側で音量を調節できない場合は、スマートフォン用アプリ“Sony | Headphones Connect”をインストールして、“Sony | Headphones Connect”アプリ上で調節してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度接続しなおしてください。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク穴（2箇所）は非耐水エリアです。音導管、通気孔、マイク穴（2箇所）に水が入ったままになると、一時的に音が小さくなります。故障ではありません。「[使い終わった](#)」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

ご注意

- 接続機器によって、ヘッドセットと音量が連動するもの、連動しないものがあります。一度ヘッドセットの音量が下がってしまうと、連動しない機器の音量操作ではヘッドセットの音量が上げられません。

関連項目

- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

左右の音量差がある、低音が足りない

- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。交換するときは大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [イヤーピースを交換する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音質が悪い

- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。交換するときは大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- 再生機器の音量が大きすぎる場合は、音量を下げてください。
- ヘッドセットと送信側Bluetooth機器が、HFPやHSPでのBluetooth接続になっているときは、接続機器を操作してA2DPでのBluetooth接続に切り替えてください。
- ヘッドセットを前回接続していたBluetooth機器に接続する場合は、ヘッドセットの電源を入れたときHFP/HSPのみBluetooth接続される場合があります。接続機器を操作して、A2DPでBluetooth接続してください。
- ヘッドセットを使ってパソコンの音楽を聞く際、最初の数秒間のみ音質が悪い場合（例えはボーカルの声が聞こえにくい、など）があります。これはパソコンの仕様（通信開始時は通話優先で接続し、数秒後に音質優先に切り替わる）であり、ヘッドセットの故障ではありません。
もし数秒たっても音質が悪い場合は、パソコン側でA2DPでの接続操作をしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

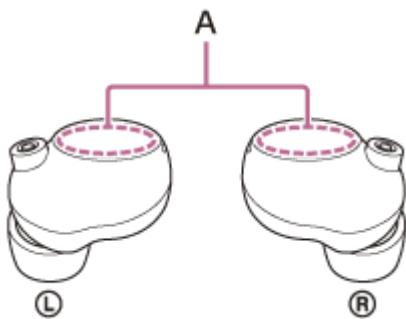
関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [イヤーピースを交換する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音が途切れやすい

- ヘッドセットを接続優先モードに設定してください。詳しくは、「[音質モードについて](#)」をご覧ください。
- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更により改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続するBluetooth機器のアンテナ部と、左右のヘッドセットに内蔵されているアンテナ部分との間に障害物がある場合は、障害物を避けてください。左右のヘッドセットのアンテナは、下記の図で点線で示した位置に内蔵されています。



A : 内蔵アンテナの位置（左、右）

- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - ヘッドセットとBluetooth機器の間に人体がある場合
この場合は、ヘッドセットのアンテナと同じ方向にBluetooth機器を置くと、Bluetooth通信が改善されます。
 - ヘッドセットとBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - 駅構内や満員電車の中など他の無線通信オーディオ機器や人体が近くにある場合
- スマートフォンで音楽を聞いているときは、不要なアプリをシャットダウンしたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。パソコンで音楽を聞いているときは、不要なアプリやウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。
- ヘッドセットとお使いのBluetooth機器をもう一度接続しなおしてください。
いったんヘッドセットを充電ケースにセットして充電ケースのふたを閉めてから、もう一度ヘッドセットを取り出し、Bluetooth機器と接続します。
- アダプティブサウンドコントロールをオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更される時に、音楽が一瞬停止してしまう場合があります。これは不具合ではありません。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

関連項目

- [音質モードについて](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

音楽再生中にノイズが入る

- 歩行中や走行中にヘッドセットを使用したとき、振動が体を伝わって聞こえる場合がありますが、これは製品の性質上起り得るもので、不具合ではありません。
- ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能(アンビエントサウンドモード)をオンにすると、周囲の環境によっては風切り音が大きくなる場合があります。

“Sony | Headphones Connect”アプリの [外音コントロール] - [ノイズキャンセリング] → [自動風ノイズ低減] を選択してください。

- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク穴（2箇所）は非耐水エリアです。音導管、通気孔、マイク穴（2箇所）に水が入ったままになると、一時的にピーという音（ハウリング）が出ることがあります。これは故障ではありません。「[使い終わったら](#)」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。
- アダプティブサウンドコントロール機能をオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更されるときに、音楽が一瞬停止して、通知音が鳴る場合があります。これは、設定が変更されたことをお知らせする音です。

この通知音をオフにしたい場合、“Sony | Headphones Connect”アプリで設定を変更できます。

- 左右のヘッドセットのマイク部を手などで覆ったり、ヘッドセットを手で握ったりすると、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。これは不具合ではありません。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能をオンにすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能をオンにするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにしてご使用ください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ノイズキャンセリング効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能がオンになっているか確認してください。
- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。交換するときは大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- ノイズキャンセリング機能は、飛行機・電車・オフィス・エアコンなどの低周波数域の騒音に効果的ですが、人の話す声など、高周波数域の騒音に対しては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリのアダプティブサウンドコントロールがオンのときは、歩いたり走ったりする行動によって、ノイズキャンセリング機能が自動的に調整され、外音取り込み機能に切り替わることがあります。ノイズキャンセリング機能を最大限に活用したい場合は、アダプティブサウンドコントロールをオフにし、手動でノイズキャンセリング機能をオンにする方法をお試しください。

関連項目

- [イヤーピースを交換する](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

機器登録（ペアリング）できない

- ヘッドセットとBluetooth機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- お買い上げ時やヘッドセットを初期化した後、修理返却後などに1台目を登録するときは充電ケースからヘッドセットを取り出すと自動的に機器登録（ペアリング）モードになります。2台目以降の機器を登録する場合は、ヘッドセットを両耳に装着し、左右のタッチセンサーに同時に約5秒間触れたままにして機器登録モードに設定する必要があります。
- ヘッドセットを初期化した後や修理返却後に機器を登録しなおす場合、接続する機器にヘッドセットの登録情報が残っていると機器登録できない場合があります（iPhoneなど）。その場合は接続する機器に登録されているヘッドセットの情報を削除してから機器登録を行ってください。
- お使いのスマートフォンやパソコンなどの接続機器を一度再起動してから、再度機器登録を実施してください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

Bluetooth接続ができない

- ヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- ヘッドセットが前回接続していた別のBluetooth機器と自動的に接続されたときは、Bluetooth接続に失敗することがあります。その場合は、前回接続していたBluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断してください。
- Bluetooth機器がスリープ状態になっていないか確認してください。スリープ状態になっている場合は解除してください。
- Bluetooth接続が切断されていないか確認してください。切断されている場合は、もう一度Bluetooth接続を開始してください。
- Bluetooth機器側でヘッドセットの接続履歴情報を削除した場合、もう一度機器登録（ペアリング）が必要です。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

ヘッドセットを操作できない

- ヘッドセットを耳に装着していないと操作できません。耳に装着してから操作してください。
- タッチセンサーをタップしないと操作できません。ヘッドセットを親指と中指で持ちながら、人差し指で操作してください。
- タッチセンサーが水に濡れていたり、指が濡れていると操作できません。乾いたタオルなどで拭いてから操作してください。
- 手袋をはめていると操作できません。手袋をはずして操作してください。
- タッチセンサーに髪の毛がかかっていると操作できません。タッチセンサーに直接指が触れるようにタップしてください。
- タッチセンサーの中央部をタップしてください。縁の部分に触ると反応しない場合があります。
- タッチセンサーは指の腹でタップしてください。爪や指の先端でタップすると反応しない場合があります。
- ヘッドセットを親指と中指でしっかりと支えた状態でタップしてください。タップしたときにヘッドセットが動くと反応しない場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーに割り当てられている機能を変更した場合は、正しく機能を割り当てたかをアプリで確認してください。
- ヘッドセットをリセットしてください。この操作をしても、機器登録（ペアリング）情報は削除されません。
- リセットしても操作できないときは、ヘッドセットを初期化してください。
- 発信中、通話中に通話移管ができない場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで【外音コントロール】の機能がタッチセンサーに割り当てられていないかご確認ください。

関連項目

- [タッチセンサーについて](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WF-1000XM4

通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器の音量が小さすぎるときは音量を上げてください。
- ビデオ通話用アプリを使用する時、ビデオ通話用アプリの設定 (*) を開き、スピーカー、もしくはマイクの設定が [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] (**) になっているかを確認してください。ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続 [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] を選択できない場合は、パソコンの設定から [ヘッドセット (WF-1000XM4 Hands-Free)] を選択し、接続してください。
* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。
** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。
- イヤーピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていないかったり、ヘッドセットが耳に正しく装着できていないと、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗したり、正しい音質、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られない可能性があります。
その場合は、以下をお試しください。
 - より密閉感が高いと感じられるイヤーピースに交換してください。交換するときは大きめのイヤーピースからお試しください。左右のイヤーピースのサイズが異なる場合もあります。“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能を最大限に発揮するために最適なイヤーピースを測定することができます。
 - ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤーピースがより耳の奥に入るよう装着してください。
- ヘッドセットを充電ケースに入れて蓋を閉めてください。その後、ヘッドセットを取り出し、もう一度Bluetooth機器と接続してください。
- スマートフォンやパソコンなどのBluetooth機器を再起動して、もう一度ヘッドセットと接続してください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [イヤーピースを交換する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

イヤーピースが破損した、紛失した

- イヤーピースを新しいものと交換するときは、別売のEP-NI1000S/EP-NI1000M/EP-NI1000Lをお買い求めください。

イヤーピースを早期劣化から守るために、以下の注意を守ってご愛用ください

- イヤーピースが汚れた場合は水洗いを避け、乾いた布等で軽く拭いて取り除いてください。その際には、アルコール等は使用しないでください。早期劣化の原因となります。
- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなるおそれがあります。
- 水に濡れてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。

イヤーピースに亀裂、剥がれ、欠けなどの劣化が見られた場合は、使用を控えてください。

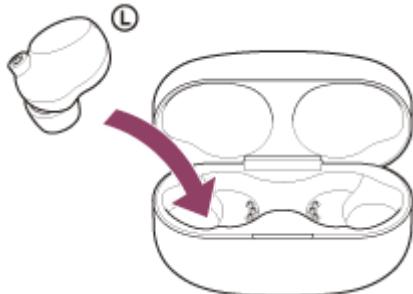
劣化すると音質、ノイズキャンセリングなどの性能が発揮できなくなり、さらに使用中にイヤーピースが耳の中に残り、けがや病気の原因になることがあります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

リセットする

ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。リセットは片方ずつ行ってください。

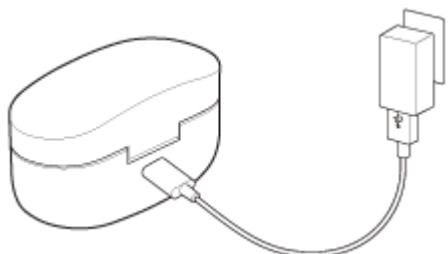
- 1 片側のヘッドセットを充電ケースにセットする。



セットしたら、充電ケースのふたを閉めてください。

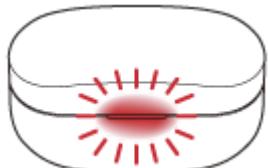
- 2 充電ケースを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。

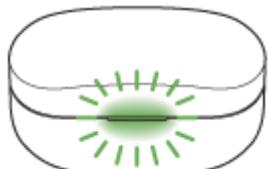


- 3 20秒以内に5回以上充電ケースのふたを開閉する。

充電ケースのランプ（赤）が点滅し始めます。



リセットが完了すると、充電ケースのランプ（緑）が4回点滅（● ● ● ●）します。



- 4 ヘッドセットを充電ケースから取り出し、もう片方のヘッドセットを充電ケースにセットして、手順1から操作する。

機器登録（ペアリング）情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

取扱説明動画について

リセットの手順は、動画でご覧いただけます。
<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0026/ja/>

関連項目

- 初期化する

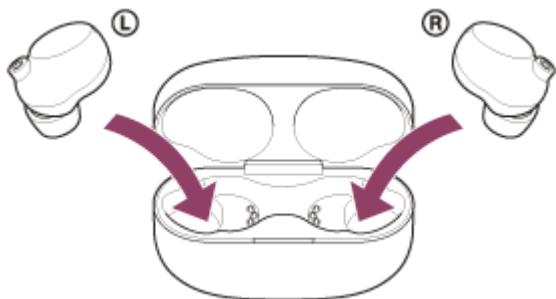
5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

初期化する

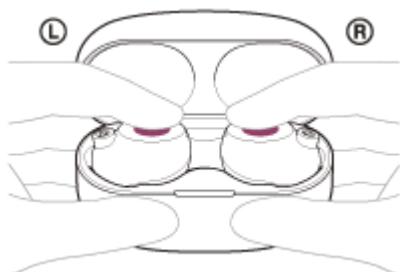
ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

- 1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

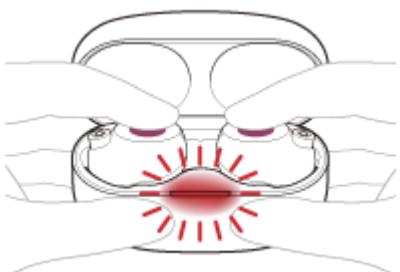


セットしたら、充電ケースのふたは開けたままにしてください。

- 2 L側とR側両方のヘッドセットのタッチセンサーに約10秒間ふれたままにする。

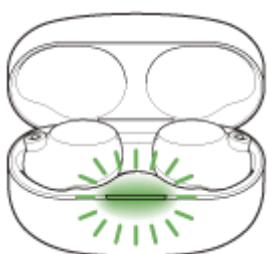


充電ケースのランプ（赤）が点滅し始めます。



- 3 ランプが点滅し始めてから5秒以内に指を離す

初期化が完了すると、充電ケースのランプ（緑）が4回（● ● ● ●）点滅します。



音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

取扱説明動画について

初期化の手順は、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0027/ja/>

ヒント

- "Sony | Headphones Connect"アプリからヘッドセットを初期化することもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に充分な残量がない場合は、ヘッドセットを初期化できません。充電ケースを充電してください。
- 手順3でランプが点滅し始めてから5秒以内に指を離さなかった場合は、ヘッドセットは初期化されません。もう一度手順2から操作してください。
- お買い上げ後にソフトウェアをアップデートした場合は、ヘッドセットを初期化してもアップデートした状態が保持されます。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM4

主な仕様

ヘッドセット

電源 :

DC 3.85 V : 内蔵充電式リチウムイオン電池
DC 5 V : USB充電時

許容動作温度 :

0 °C～40 °C

充電時間 :

約1.5時間 (本体)
約3時間 (充電ケース)

質量 :

約7.3 g×2 (ヘッドセットのみ (イヤーピースMサイズ含む))
約41 g (充電ケース)

通信仕様

通信方式 :

BLUETOOTH標準規格 Ver. 5.2

出力 :

BLUETOOTH標準規格 Power Class 1

最大通信距離 :

見通し距離 約10 m (*1)

使用周波数帯域 :

2.4 GHz帯 (2.4000 GHz - 2.4835 GHz)

対応BLUETOOTHプロファイル (*2) :

A2DP/AVRCP/HFP/HSP

対応コーデック (*3) :

SBC
AAC
LDAC

伝送帯域 (A2DP) :

20 Hz - 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)
20 Hz - 40,000 Hz (LDAC 96 kHzサンプリング、990 kbps 時)

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

*2 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*3 音声圧縮変換のこと

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

対応iPhone/iPod

iPhone SE（第2世代）、iPhone 11 Pro Max、iPhone 11 Pro、iPhone 11、iPhone XS Max、iPhone XS、iPhone XR、iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPod touch（第7世代）、iPod touch（第6世代）
※ 2021年2月 現在

ご注意

- 充電時間は、使用条件により変わる場合があります。

5-027-983-01(6) Copyright 2021 Sony Corporation